

### Ⅲ.調査結果

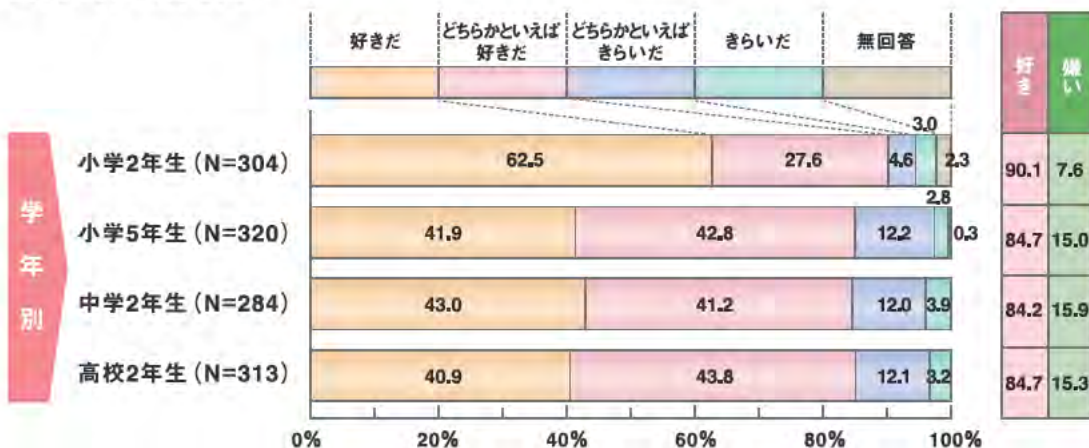
#### 第1部 子ども編

##### 1.読書について

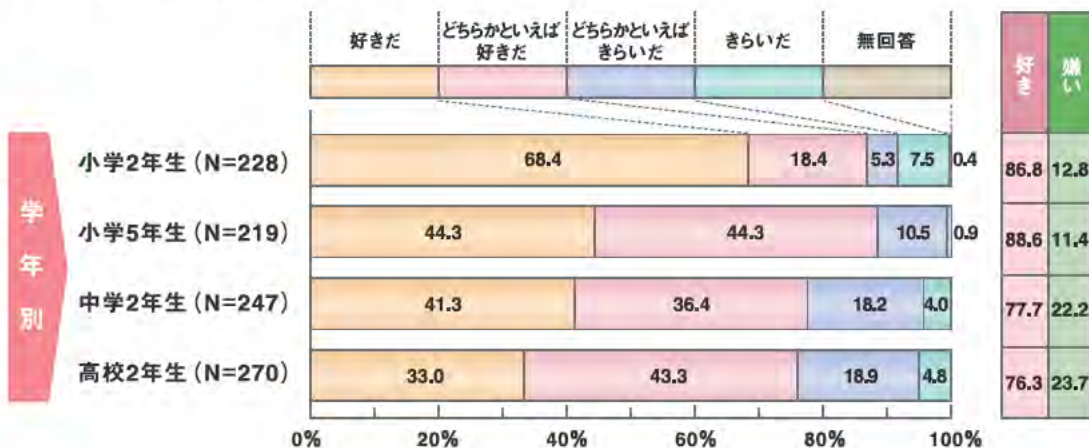
###### (1)読書の好き嫌い

前回調査の結果と比較すると、小学2年生は『好き』(=「好きだ」+「どちらかといえば好きだ」)の割合が増加しているものの、小学5年生は『好き』の割合が減少している。中学2年生、高校2年生は『好き』の割合が増加しており、特に、高校2年生は約8ポイント増加している。一方、『嫌い』(=「全くきらいだ」+「どちらかといえばきらいだ」)の割合は小学2年生が減少しているが、小学5年生は増加している。中学2年生、高校2年生はいずれも『嫌い』の割合は減少しており、特に、高校2年生は約8ポイント減少している。5年前に比べて、小学校低学年及び中高生は読書が好きな児童生徒が増加している傾向が見られる。

図表 読書の好き嫌い



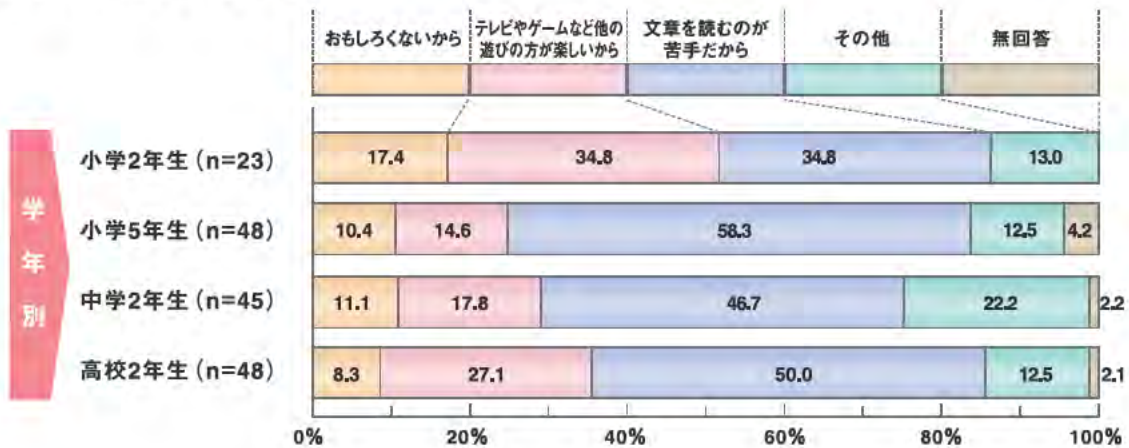
参考:読書の好き嫌い(前回調査)



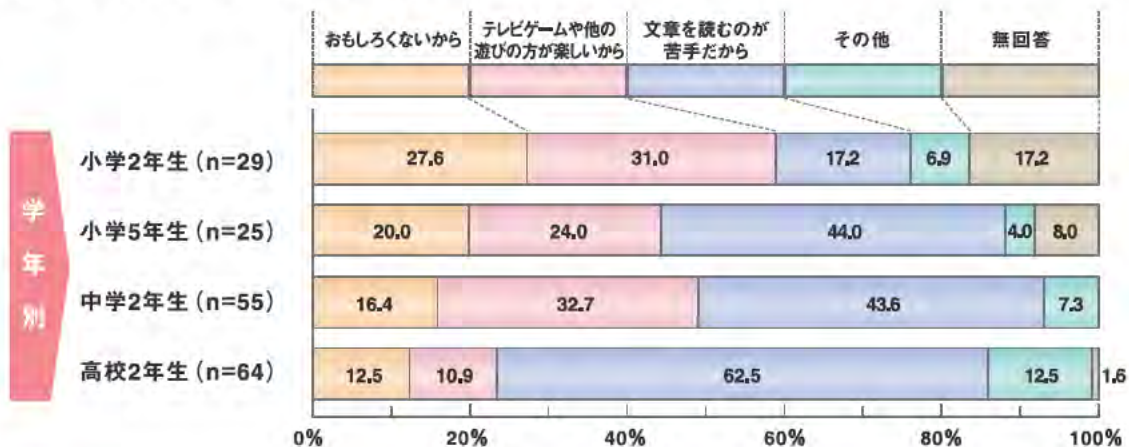
## (2) 読書が嫌いな理由

前回調査の結果と比較すると、「文章を読むのが苦手だから」が小学2年生で約17ポイント、小学5年生で約14ポイントも増加しており、5年前に比べて小学生の中で文章に対する苦手意識が増大している傾向が見られる。一方、高校2年生は「文章を読むのが苦手だから」が約12ポイント減少し、逆に「テレビやゲームなど他の遊びの方が楽しいから」が約16ポイント増加している。

図表 読書が嫌いな理由



参考: 読書が嫌いな理由(前回調査)



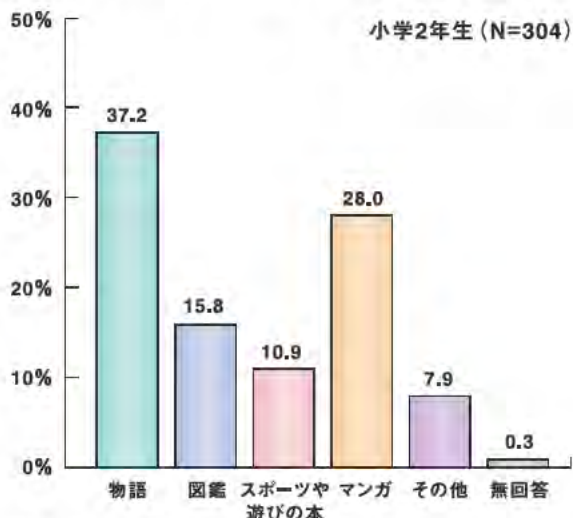
## (3) 好きな本の種類

### ①小学2年生

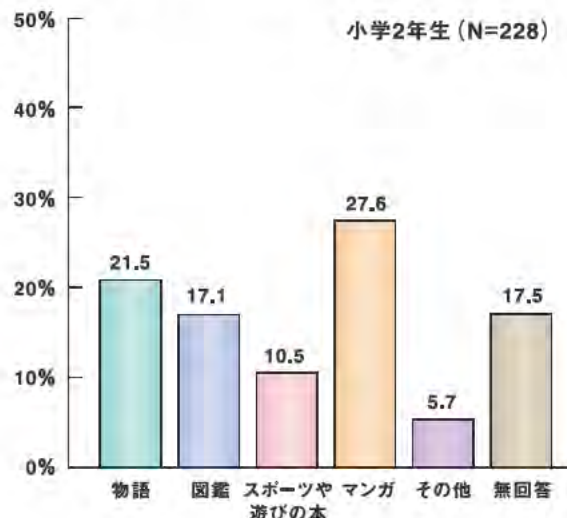
小学2年生では、前回調査の結果から第1位と第2位が入れ替わっている。特に、今回第1位の「物語」は前回調査の結果を約15ポイント上回る結果となっている。

資料編

図表 好きな本の種類(小学2年生)



参考:好きな本の種類(小学2年生)(前回調査)

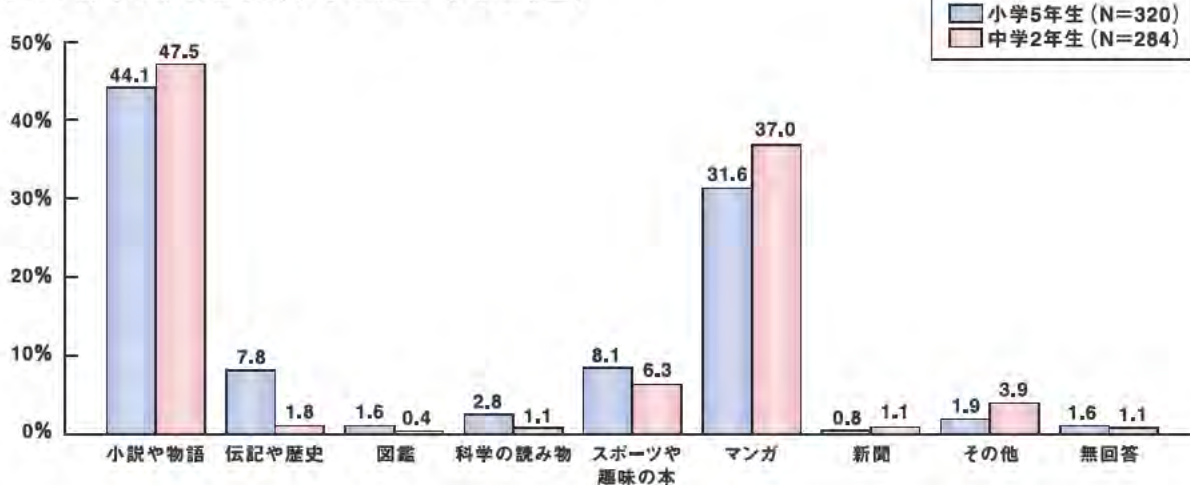


②小学5年生・中学2年生

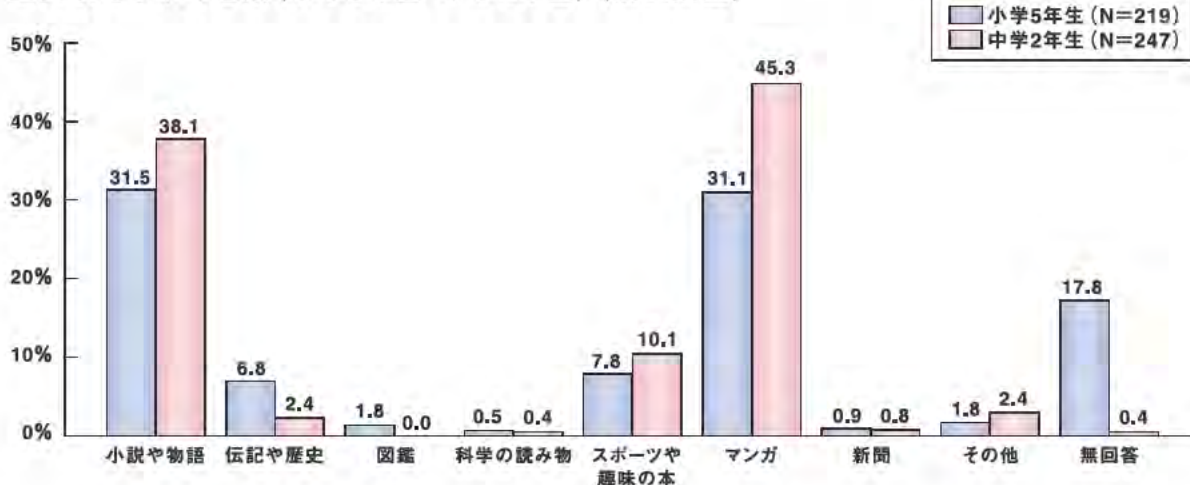
小学5年生では、前回調査の結果から順位に変動はないものの、第1位の「小説や物語」は前回調査の結果を約12ポイント上回る結果となっている。

中学2年生では、前回調査の結果から第1位と第2位が入れ替わっており、その差も「小説や物語」は約9ポイント増、「マンガ」は約8ポイント減と、活字本を「好きだ」と回答する生徒の割合が増加している。

図表 好きな本の種類(小学5年生・中学2年生)



図表 好きな本の種類(小学5年生・中学2年生)(前回調査)

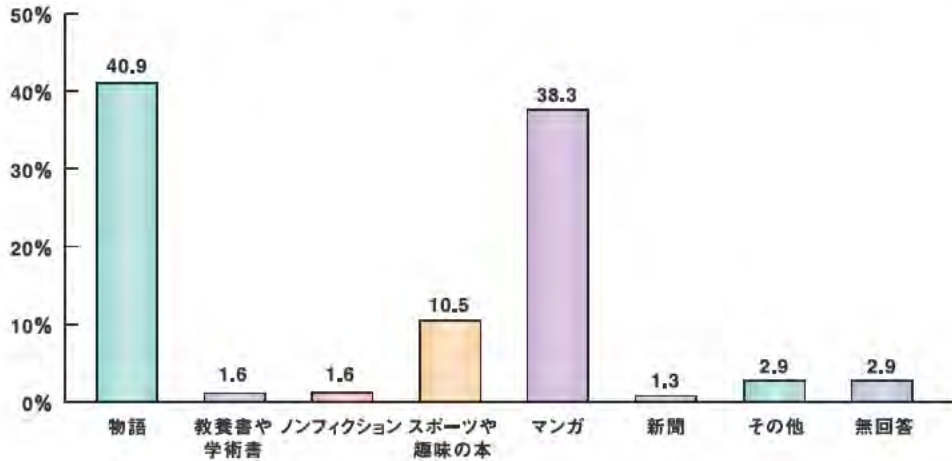


③高校2年生

高校2年生では、前回調査の結果から第1位と第2位が入れ替わっており、「小説や物語」は約10ポイント増、「マンガ」は約9ポイント減となっている。小学5年生・中学2年生と同様、活字本を「好きだ」と回答する生徒の割合が増加している。

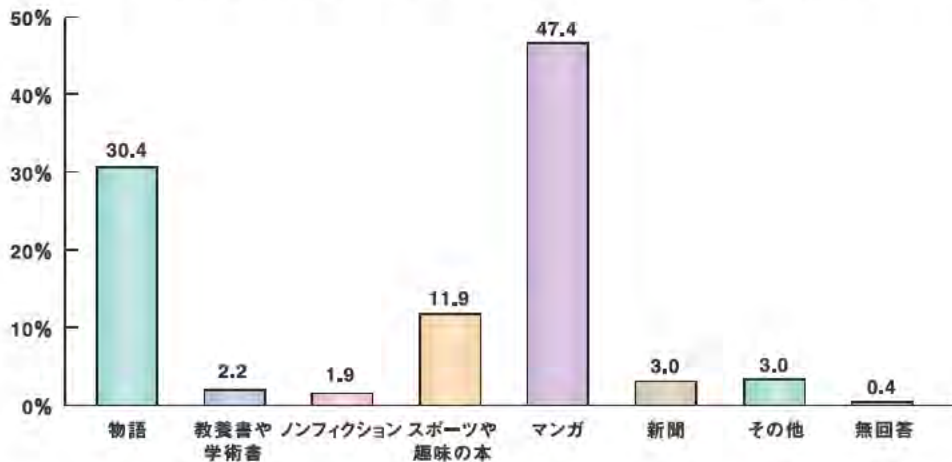
図表 好きな本の種類(高校2年生)

高校2年生(N=313)



参考:好きな本の種類(高校2年生)(前回調査)

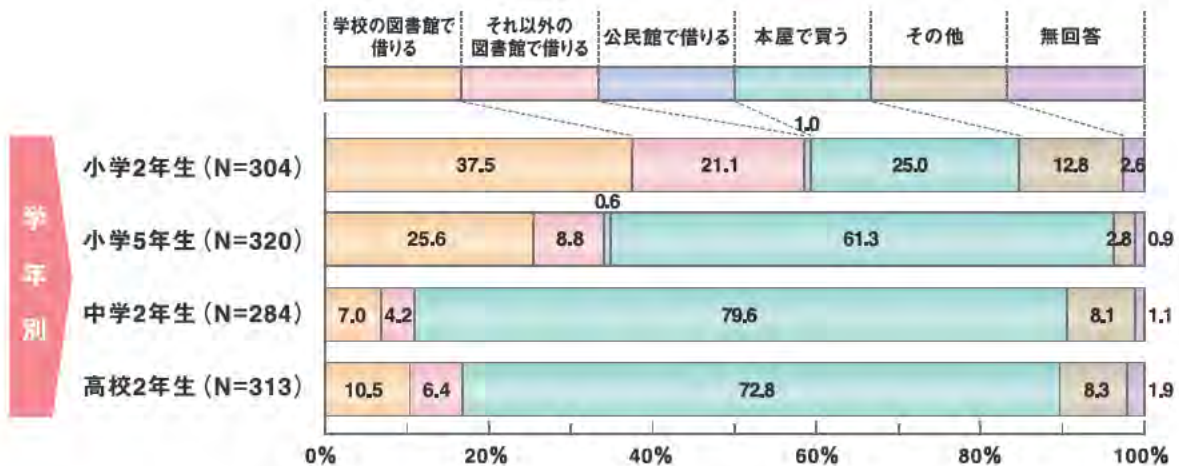
高校2年生(N=270)



(4)本の入手方法

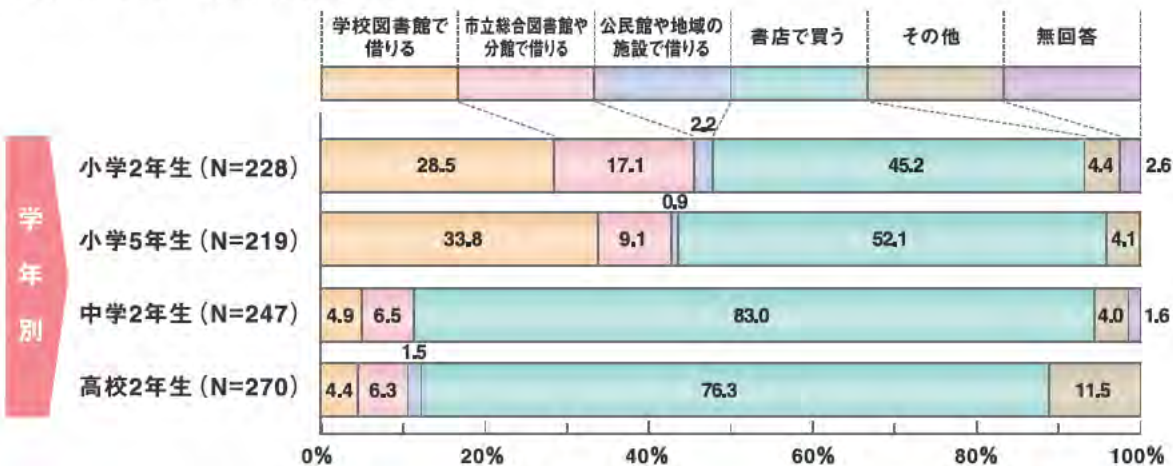
本の入手方法について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、いずれの学年も「本屋で買う」の割合が減少しており、特に小学2年生は約20ポイントも減少している。

図表 本の入手方法



資料編

参考:本の入手方法(前回調査)

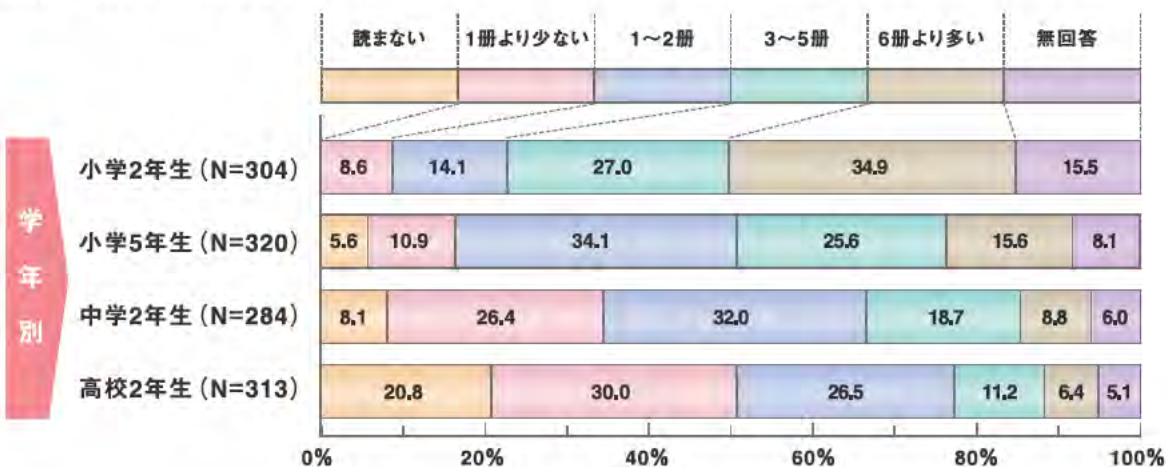


(5) 月間での読書冊数

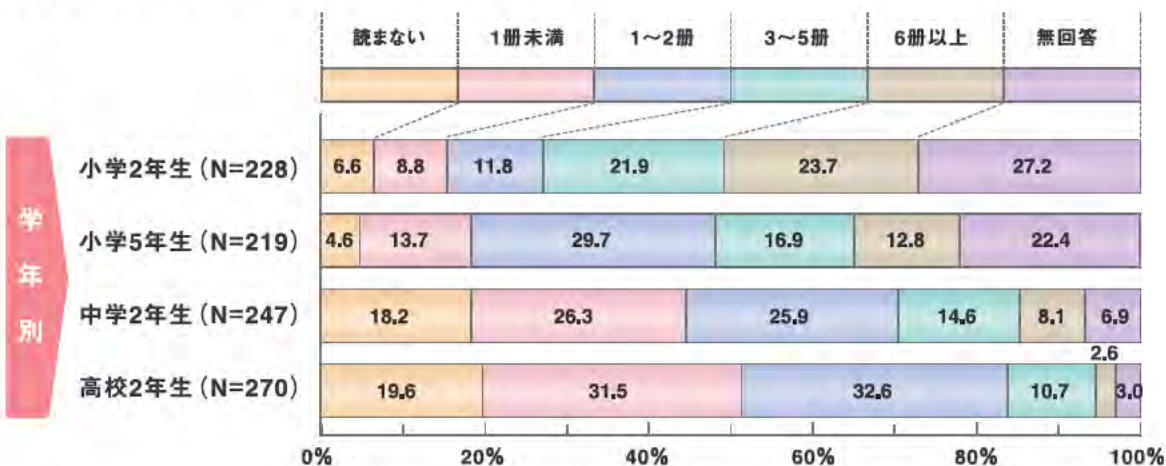
①本

本の読書冊数は、前回調査の結果と比較すると、「読まない」と「1冊より少ない」を合わせた割合は、小学2年生で約6ポイント減少、中学2年生は約10ポイント減少している。なお、小学5年生及び高校2年生は5年前とほぼ同様となっている。

図表 月間での読書冊数(本)



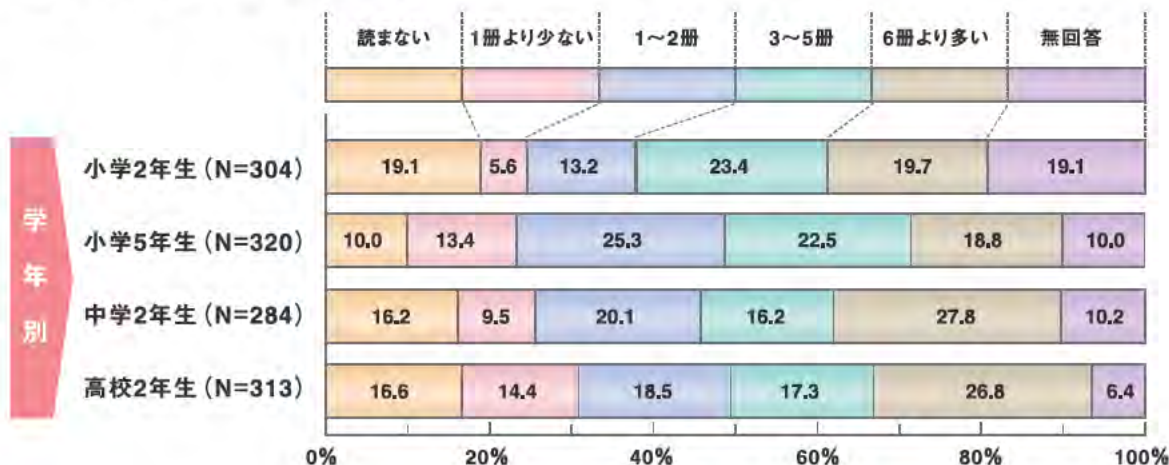
参考:月間での読書冊数(本)(前回調査)



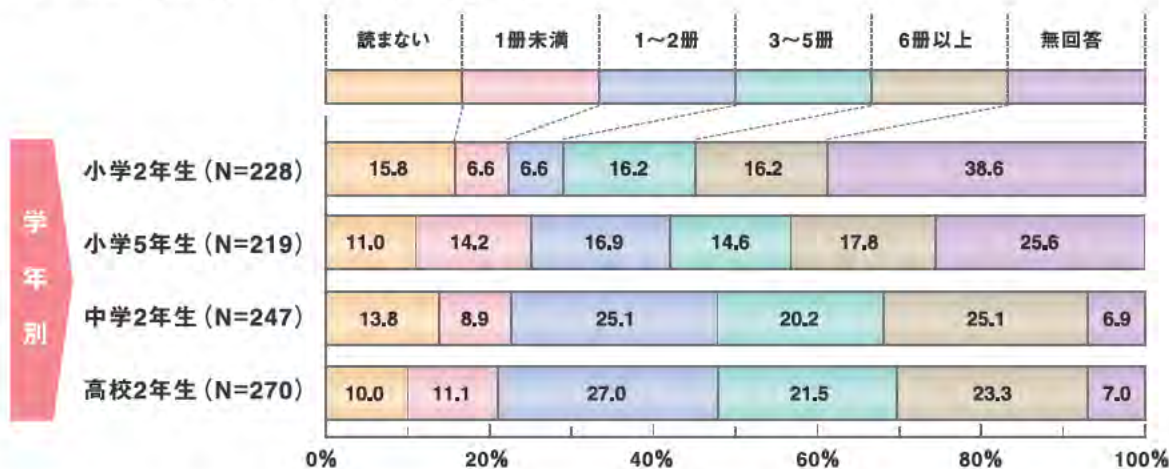
②マンガ

マンガの冊数は、前回調査の結果と比較すると、小学2年生は「読まない」の割合が約3ポイント増加している。小学5年生は「1～2冊」及び「3～5冊」の割合が増加しており、5年前に比べて月間に読むマンガの冊数がわずかに増えている傾向が見られる。中学2年生、高校2年生は「読まない」の割合が増加している一方で、「6冊以上」の割合も増加しており、マンガを読む生徒と読まない生徒の二極化が進んでいる傾向が見られる。

図表 月間での読書冊数(マンガ)



参考:月間での読書冊数(マンガ)(前回調査)



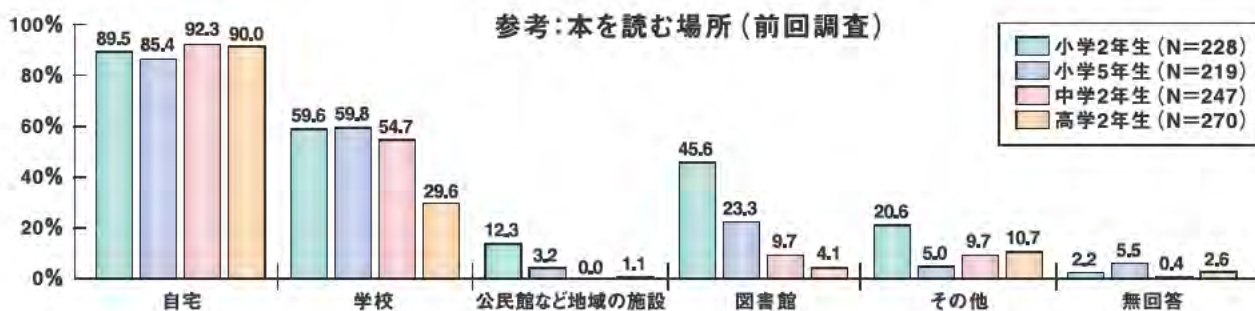
(6) 本を読む場所

本を読む場所について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、「学校」の割合はいずれの学年も増加しており、特に小学2年生は16ポイント以上も増加しているほか、中学2年生は約11ポイント、高校2年生も約14ポイント増加しており、5年前に比べて学校で本を読む児童生徒が増加している傾向が見られる。

図表 本を読む場所



資料編

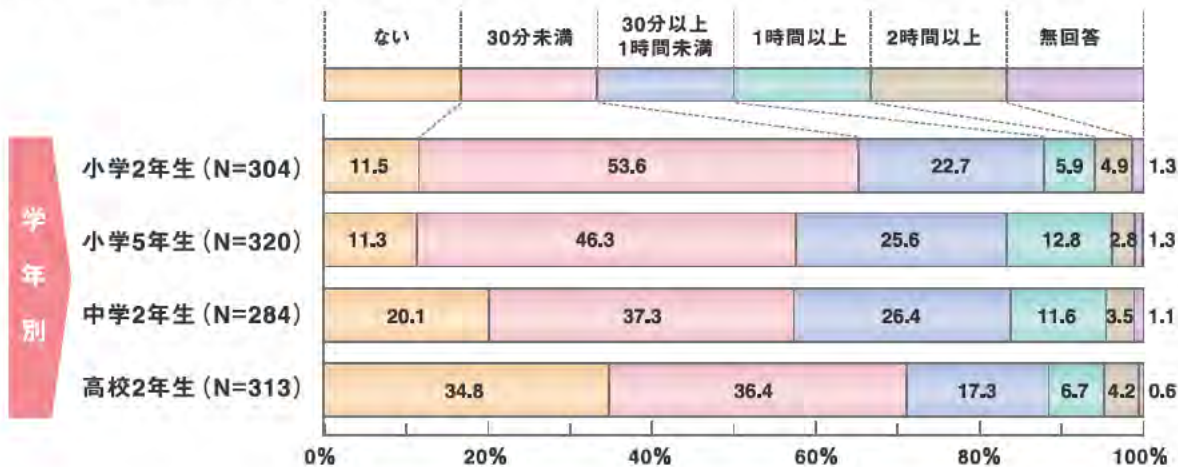


(7) 平日での時間の使い方

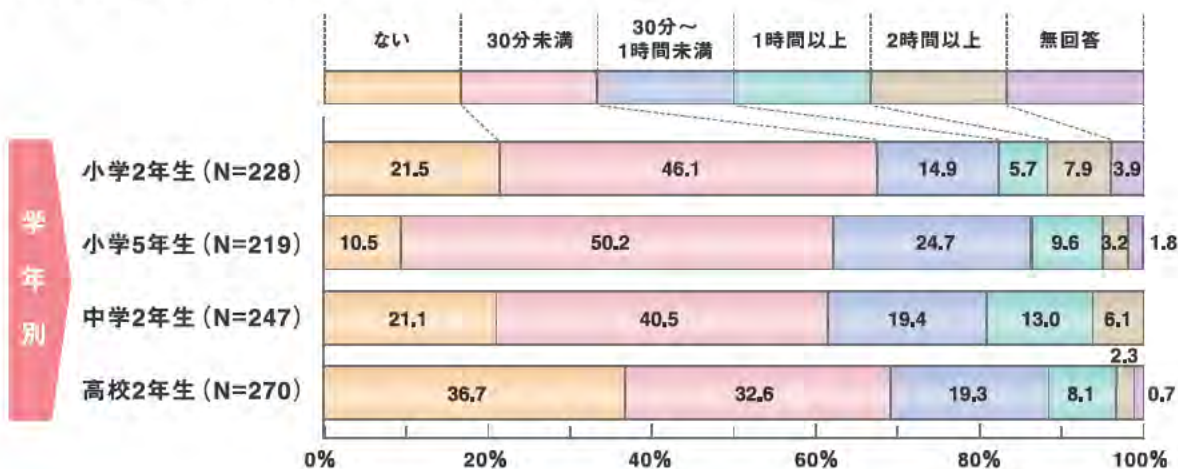
①本を読む

本を読む時間としては、前回調査の結果と比較すると、小学2年生は本を読まない児童の割合が減少しており、5年前に比べて本を読む児童の割合が増加しているが、その他の学年については、5年前の傾向とそれほど大きな違いは見られない。

図表 平日での時間の使い方（本を読む）



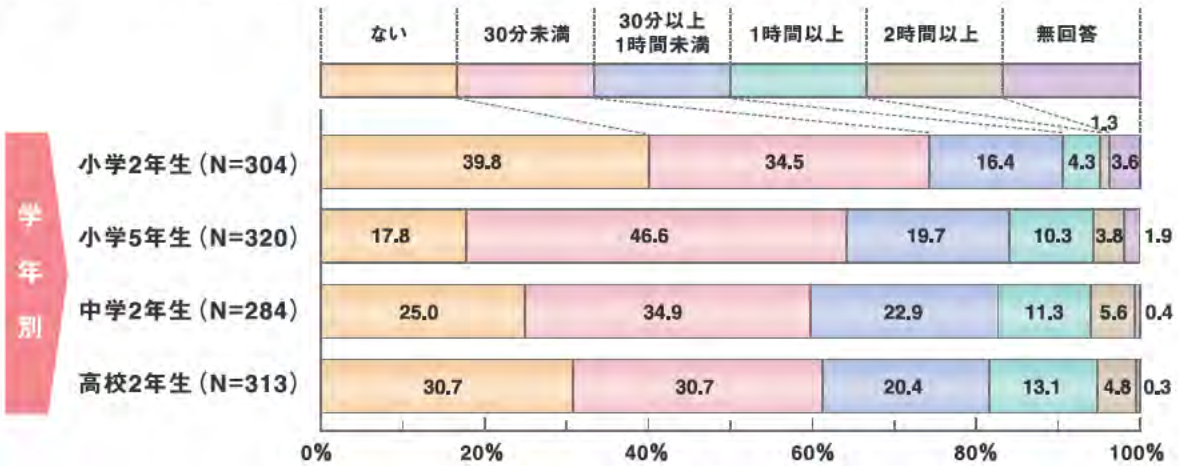
参考：平日での時間の使い方（本を読む）（前回調査）



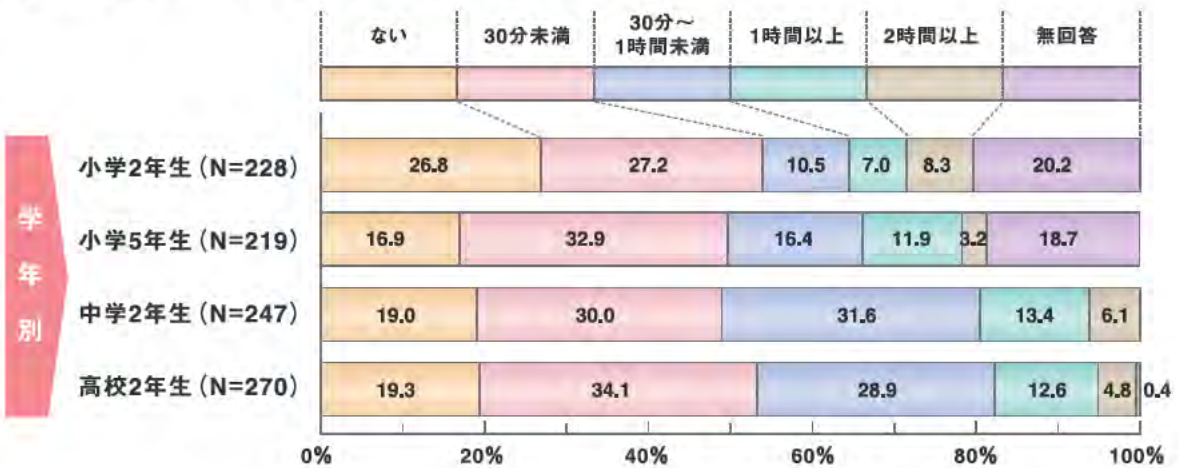
②マンガを読む

マンガを読む時間としては、前回調査の結果と比較すると、いずれの学年もマンガを読まない児童生徒の割合が増加しており、5年前に比べてマンガを読む児童生徒が減っている傾向が見られる。

図表 平日での時間の使い方(マンガを読む)



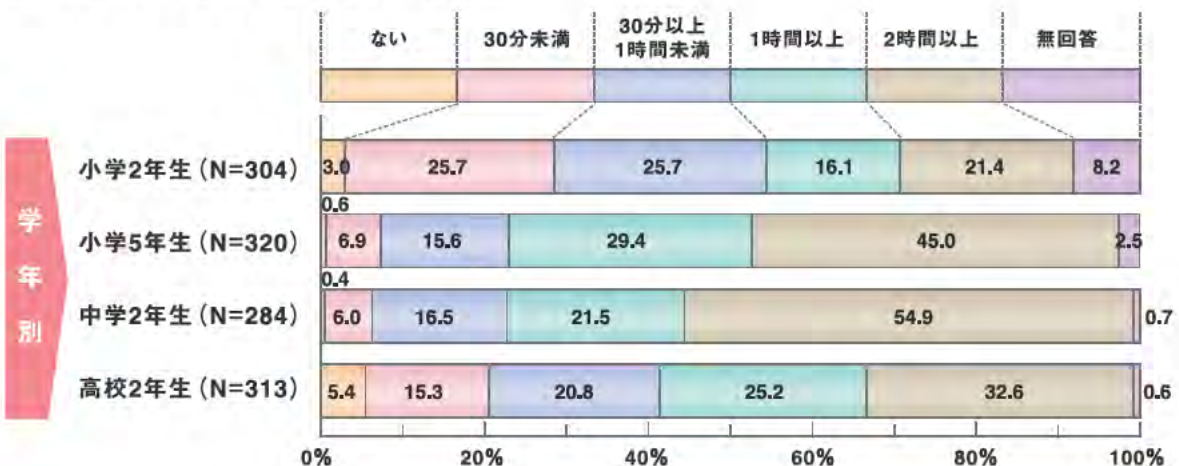
参考:平日での時間の使い方(マンガを読む)(前回調査)



③テレビを見る

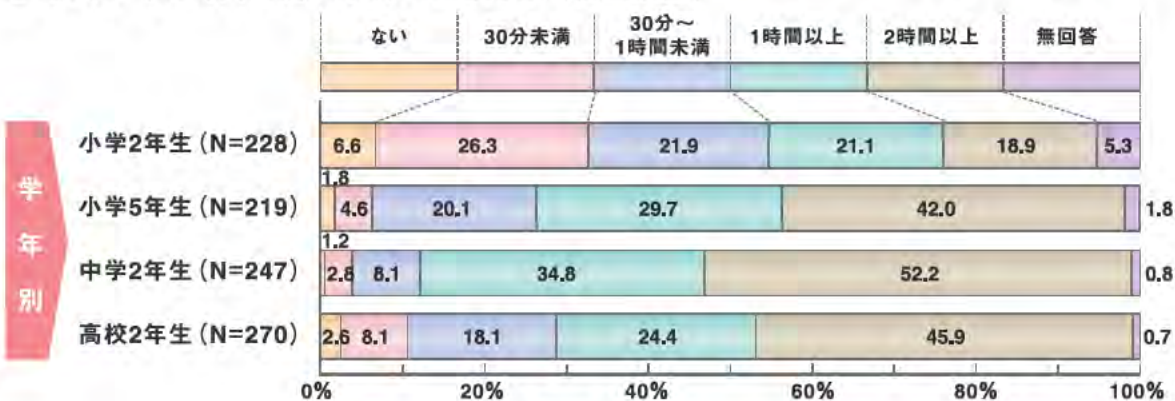
テレビを見る時間としては、前回調査の結果と比較すると、小学2年生は「30分以上1時間未満」が約3ポイント増加しているものの、「1時間以上」や「2時間以上」といった長時間テレビを見ている児童の割合は減少している。小学5年生は5年前の傾向とほぼ同じである。中学2年生は「1時間以上」が約13ポイント減少しているものの、「2時間以上」はほとんど変わらない。高校2年生は「1時間以上」や「2時間以上」といった長時間テレビを見ている生徒の割合が減少している。

図表 平日での時間の使い方(テレビを見る)





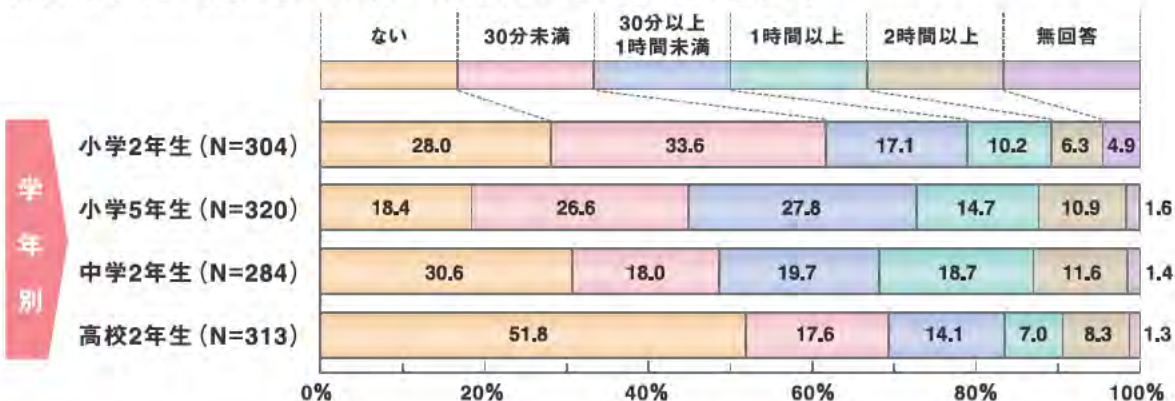
参考:平日での時間の使い方(テレビを見る)(前回調査)



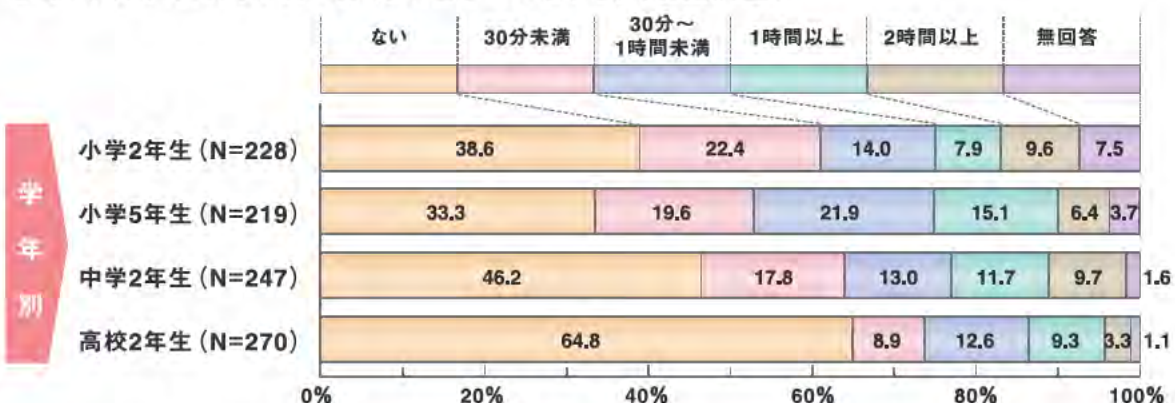
④ゲーム機やパソコンでゲームをする

ゲーム機やパソコンでゲームをする時間としては、前回調査の結果と比較すると、いずれの学年もゲーム機やパソコンでゲームをしない児童生徒の割合は減少しており、5年前に比べてゲーム機やパソコンでゲームをする児童生徒が増えている傾向が見られる。

図表 平日での時間の使い方(ゲーム機やパソコンでゲームをする)



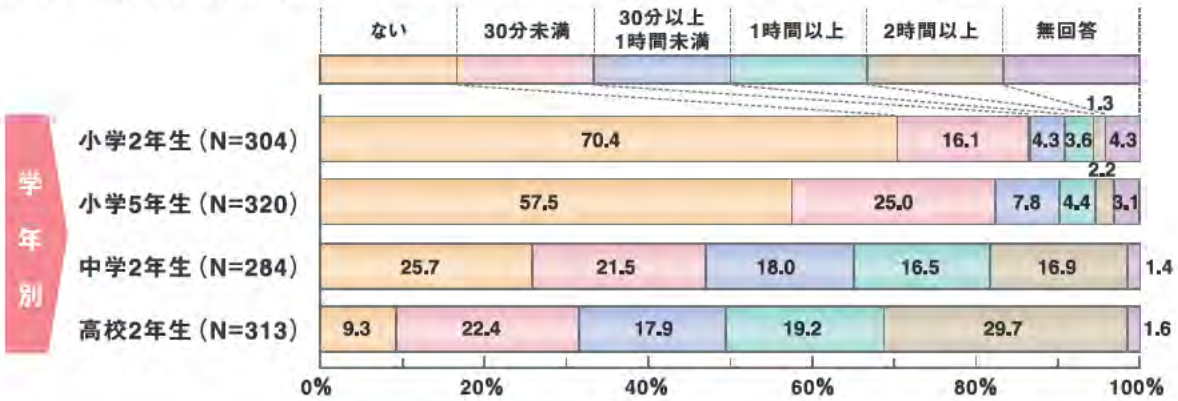
参考:平日での時間の使い方(テレビゲームをする)(前回調査)



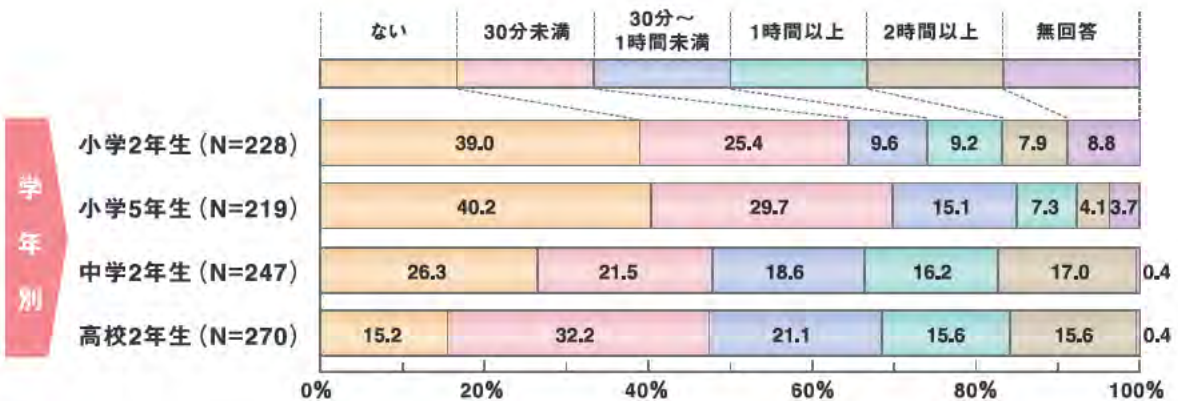
⑤パソコンやケータイでメールやインターネットをする

パソコンやケータイでメールやインターネットをする時間としては、前回調査の結果と比較すると、小学生はメールやインターネットをする児童の割合が減少している。中学2年生は5年前の傾向とほぼ同じである。高校生はメールやインターネットをする児童の割合が増加しており、特に「1時間以上」や「2時間以上」といった長時間メールやインターネットをする生徒の割合が5年前に比べて増加しているのが特徴的である。

図表 平日での時間の使い方(パソコンやケータイでメールやインターネットをする)



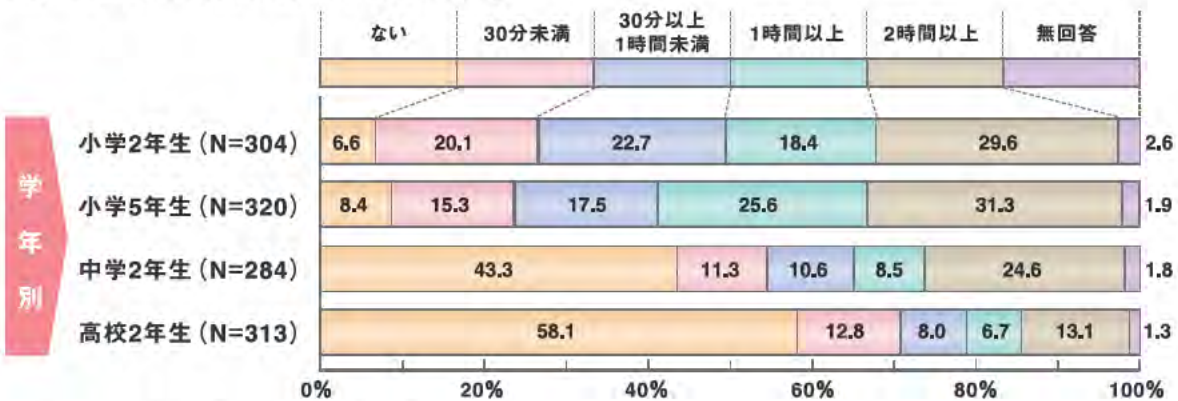
参考:平日での時間の使い方(メールやインターネットをする)(前回調査)



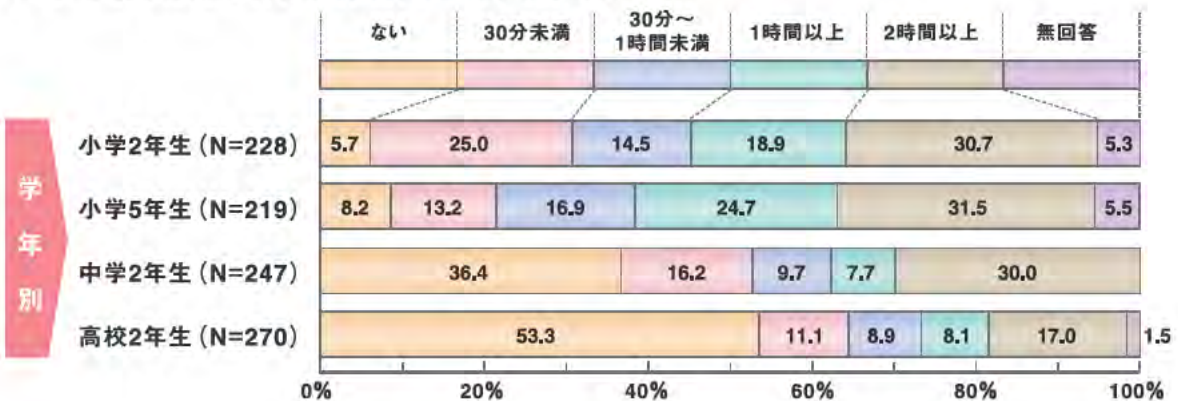
⑥外で遊ぶ

外で遊ぶ時間としては、前回調査の結果と比べると、小学生は5年前の傾向とそれほど大きな違いは見られないが、中学2年生、高校2年生は5年前に比べて外で遊ばない生徒が増えている傾向が見られる。

図表 平日での時間の使い方(外で遊ぶ)



参考:平日での時間の使い方(外で遊ぶ)(前回調査)

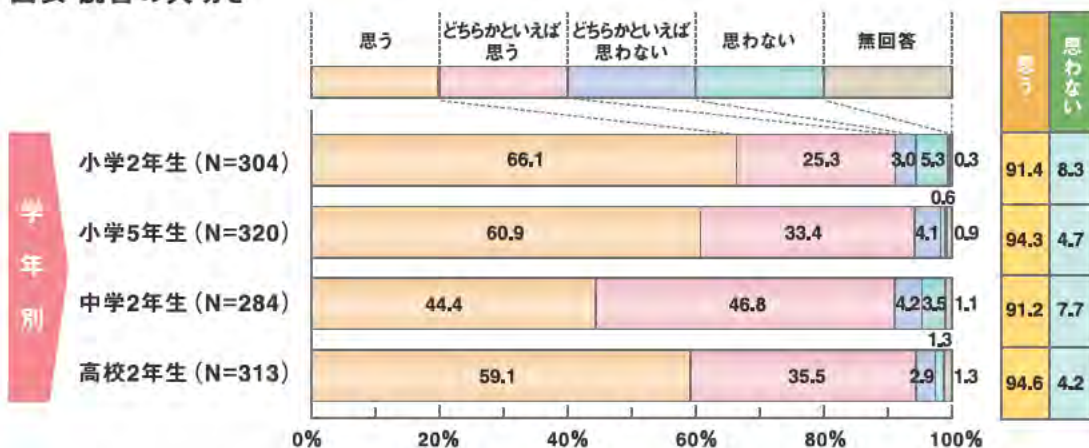


資料編

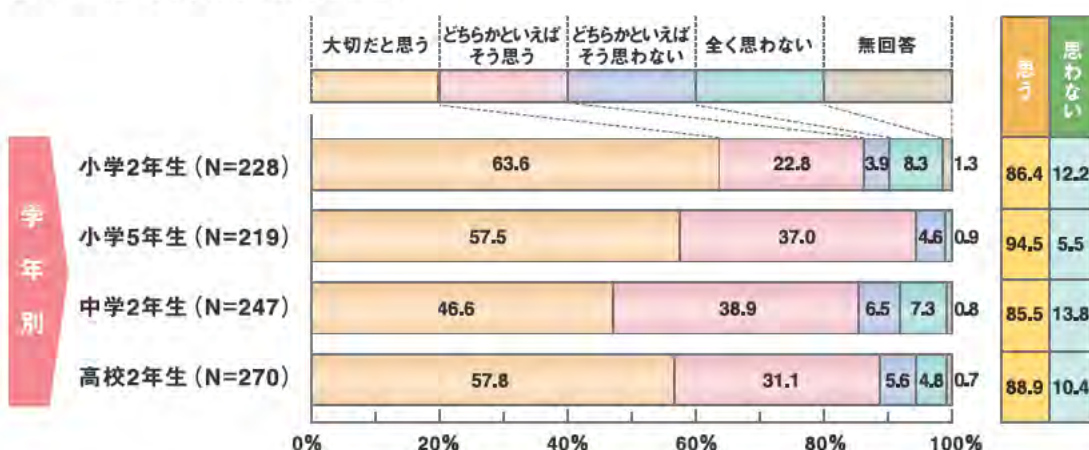
### (8) 読書の大切さ

読書の大切さについて尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、「思う」と回答した人の割合の傾向は5年前と変わらないものの、読書が大切だと「思う」(=「思う」+「どちらかといえば思う」)割合をみると、小学2年生、中学2年生、高校2年生でそれぞれ増加しており、5年前に比べて読書が大切だと思う児童生徒が増加している傾向が見られる。

図表 読書の大切さ



参考: 読書の大切さ(前回調査)

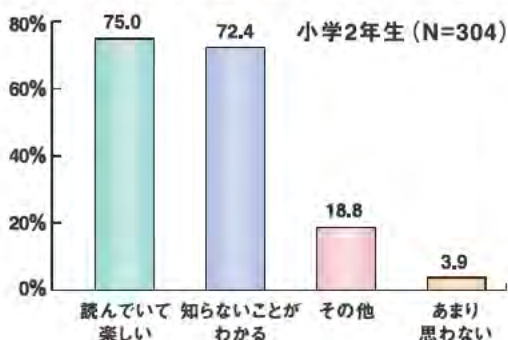


### (9) 本を読んで良い点

#### ①小学2年生

本を読んで良い点としては、前回調査の結果と比較すると、「読んでいて楽しい」、「知らないことがわかる」のいずれも、5年前に比べて割合は増加している。また、「あまり思わない」も5年前から4ポイント減少している。

図表 本を読んで良い点(小2)



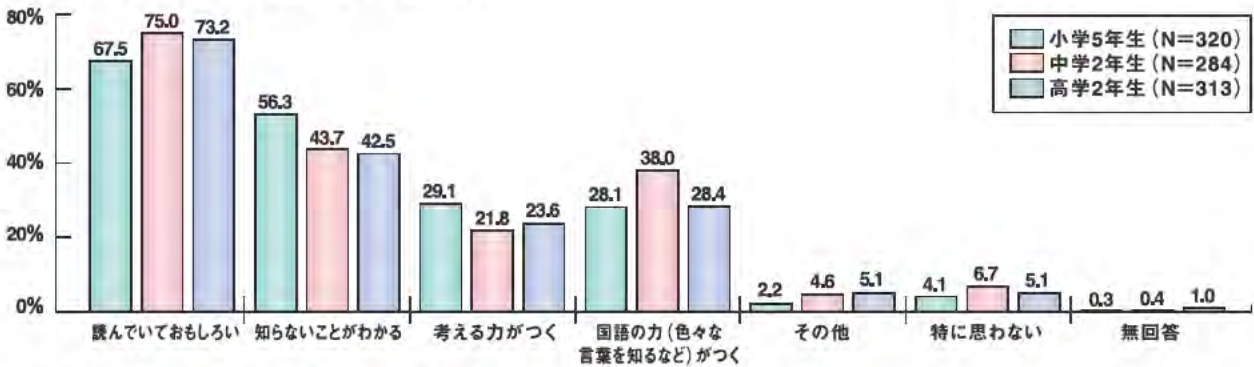
参考:(前回調査)



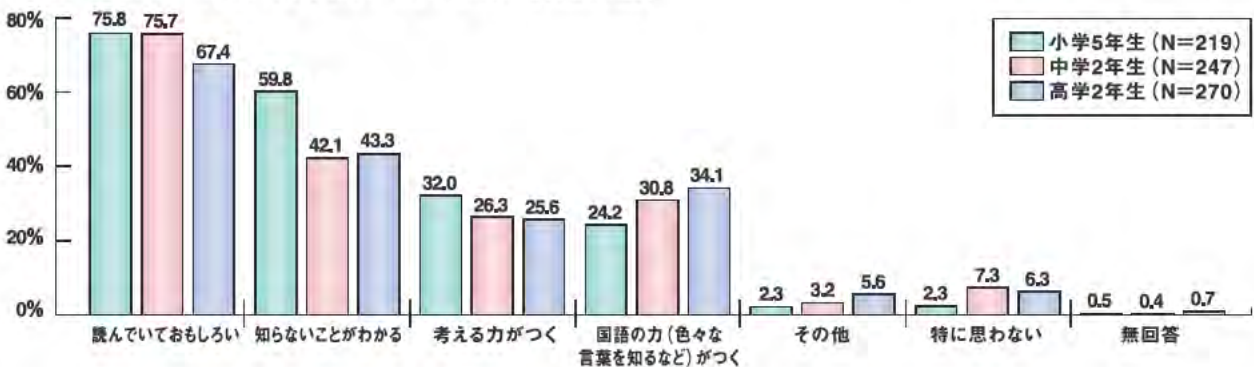
②小学5年生, 中学2年生, 高校2年生

本を読んで良い点としては, 前回調査の結果と比較すると, 小学5年生は「読んでいておもしろい」の割合が約8ポイント減少している。中学2年生は「国語の力(色々な言葉を知るなど)がつく」の割合が約7ポイント増加している。一方, 高校2年生は「国語の力(色々な言葉を知るなど)がつく」の割合が約5ポイント減少している。

図表 本を読んで良い点(小5・中2・高2)



参考:本を読んで良い点(小5・中2・高2)(前回調査)

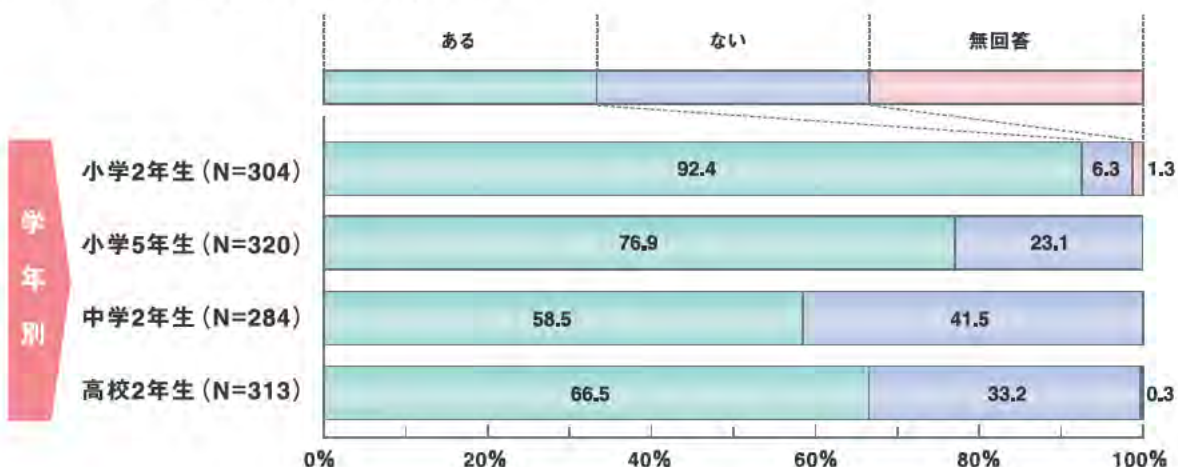


2. 学校, 学校図書館について

(1) 読書の時間(朝の読書など)の有無

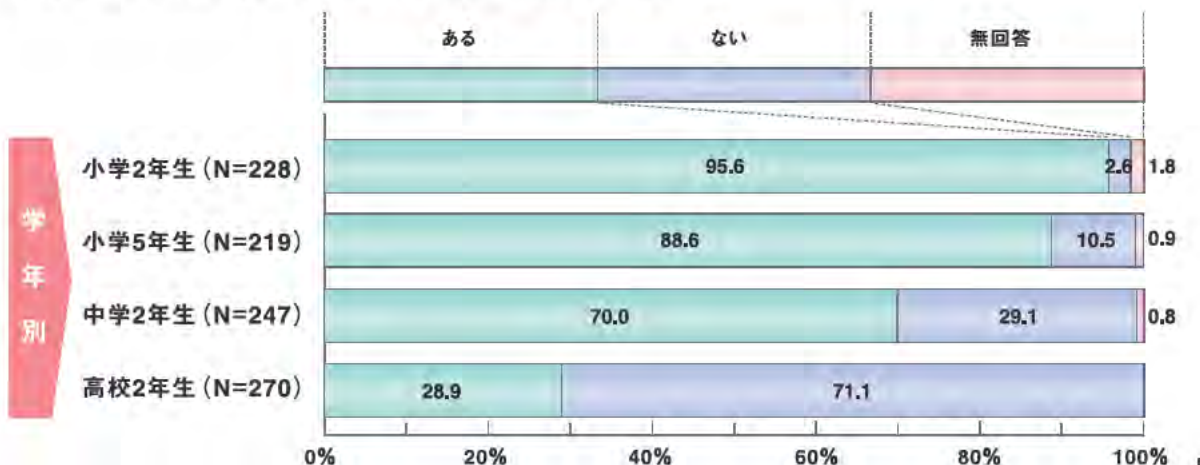
クラスに読書の時間(朝の読書など)については, 前回調査の結果と比較すると, 小学2年生は5年前とほぼ変わらないものの, 小学5年生, 中学2年生は「ある」と回答した児童生徒の割合が減少している。一方で, 高校2年生は「ある」と回答した生徒の割合が30ポイント以上も増加しており, 5年前に比べて読書の時間(朝の読書など)が大幅に増加している傾向が見られる。

図表 読書の時間(朝の読書など)の有無



資料編

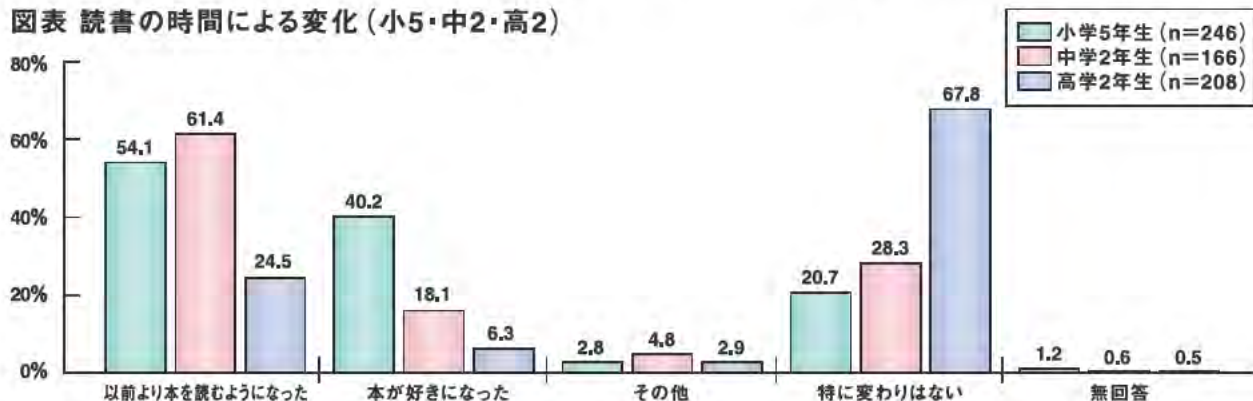
参考：読書の時間（朝の読書など）の有無（前回調査）



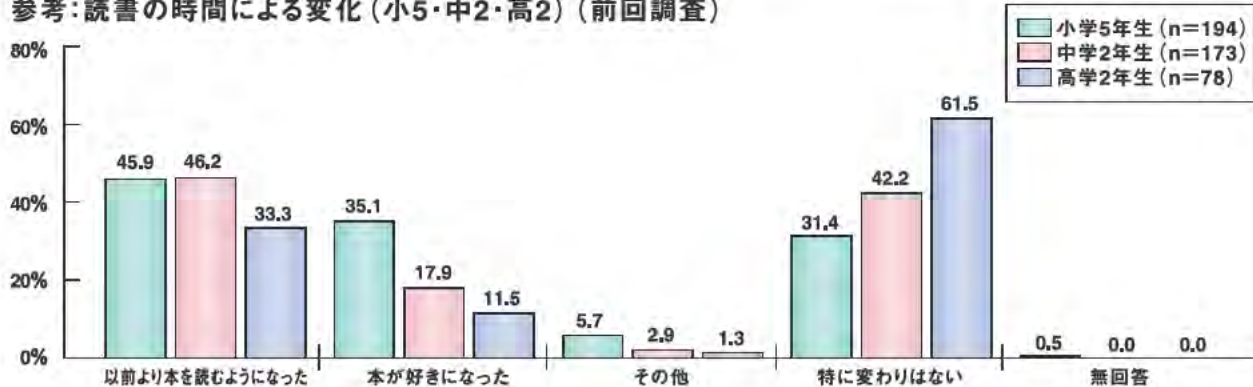
### (2) 読書の時間による変化（小5・中2・高2）

読書の時間があることによって何か変化があったかを尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、小学5年生、中学2年生は「以前より本を読むようになった」と回答した児童生徒の割合が増加し、一方で「特に変わりはない」の割合が減少しており、読書の時間があることによって本を読むようになったと感じている児童生徒が5年前よりも増加している傾向が見られる。また、小学5年生は「本が好きになった」と回答した児童の割合が約5ポイント増加している。

図表 読書の時間による変化（小5・中2・高2）



参考：読書の時間による変化（小5・中2・高2）（前回調査）



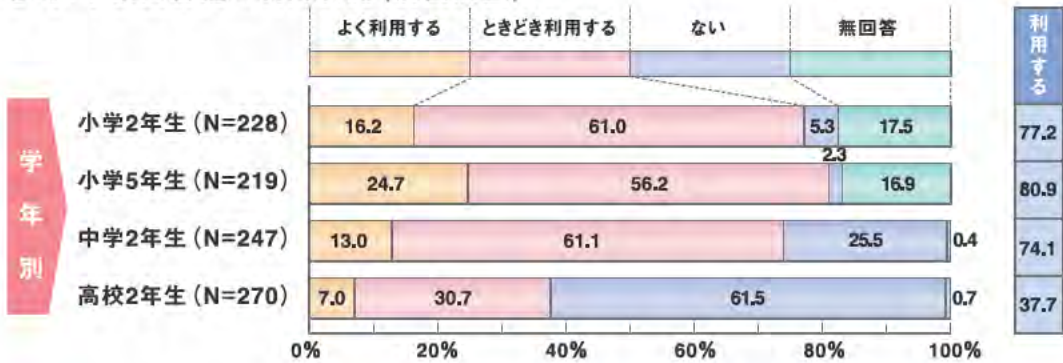
### (3) 学校図書館の利用状況

学校図書館の利用状況については、前回調査の結果と比較すると、中学2年生以外は「よく利用する」と回答した児童生徒の割合は増加している。『利用する』（＝「よく利用する」＋「ときどき利用する」）の割合も、中学2年生以外は5年前に比べて増加している。

図表 学校図書館の利用状況



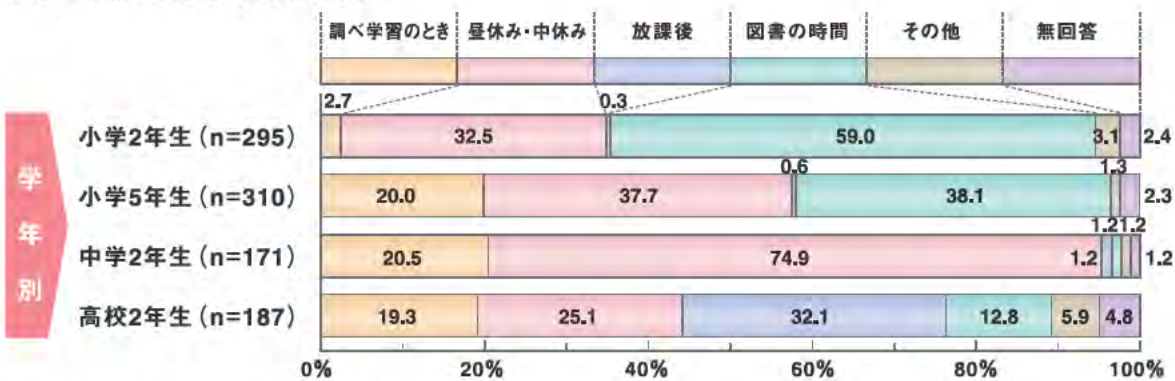
参考: 学校図書館の利用状況(前回調査)



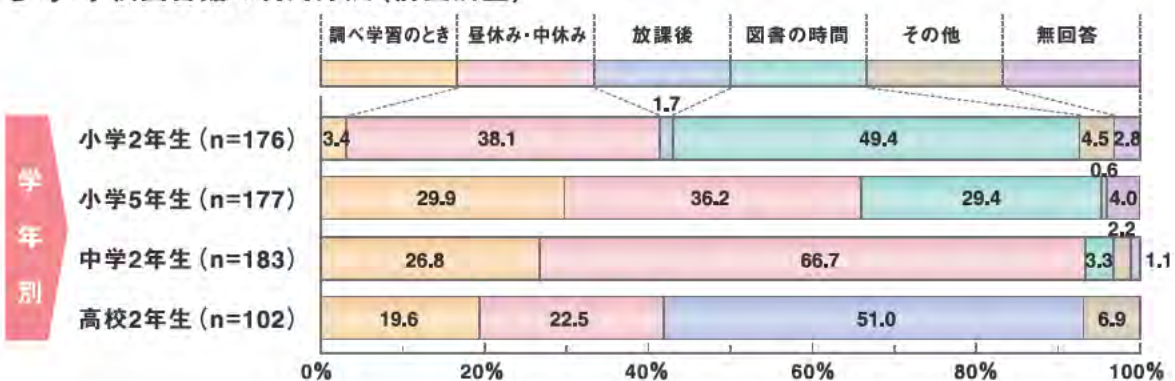
(4) 学校図書館の利用方法

学校図書館の利用方法について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、小学2年生は「図書の時間」の割合が約10ポイント増加している。小学5年生は「調べ学習のとき」の割合が減少している一方で、「図書の時間」が増加している。中学2年生は「調べ学習のとき」の割合が減少している一方で、「昼休み・中休み」が増加している。高校2年生は「放課後」の割合が約18ポイント減少している一方で、「図書の時間」と回答した生徒が1割見られるのが特徴的な変化といえる。

図表 学校図書館の利用方法



参考: 学校図書館の利用方法(前回調査)

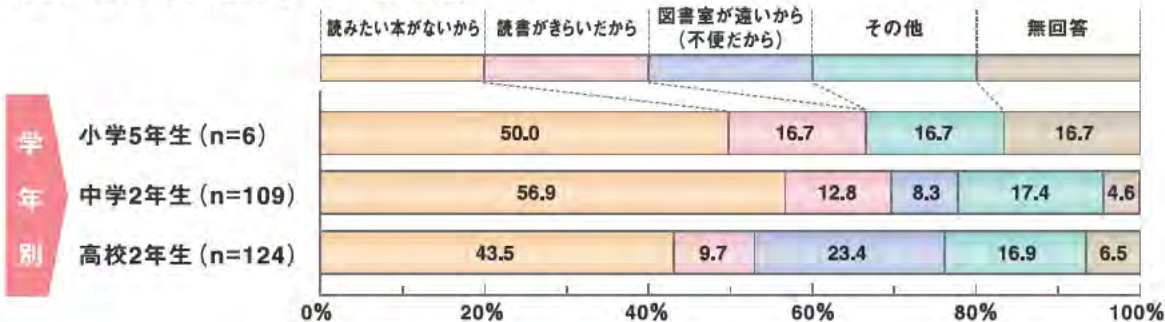


資料編

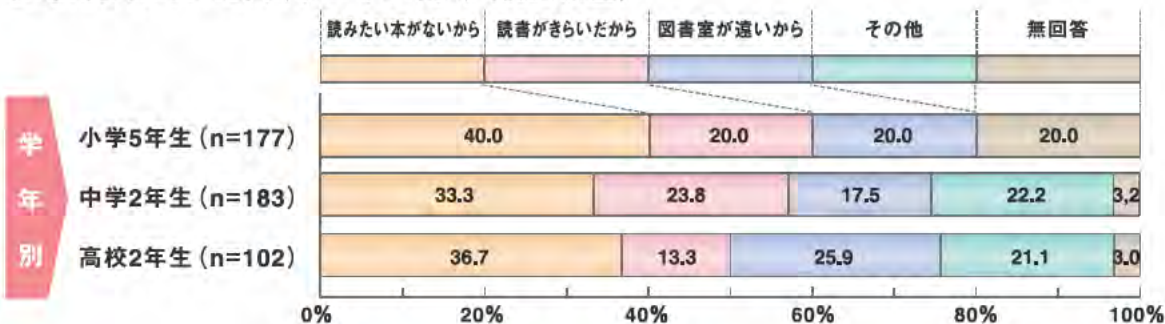
### （5）利用しない理由（小5・中2・高2）

学校図書館を利用しない理由としては、前回調査の結果と比較すると、いずれの学年も「読みたい本がないから」の割合が5年前に比べて増加している一方で、「読書がきらいだから」、「図書室が遠いから（不便だから）」の割合は減少している。

図表 利用しない理由（小5・中2・高2）



参考：利用しない理由（小5・中2・高2）（前回調査）

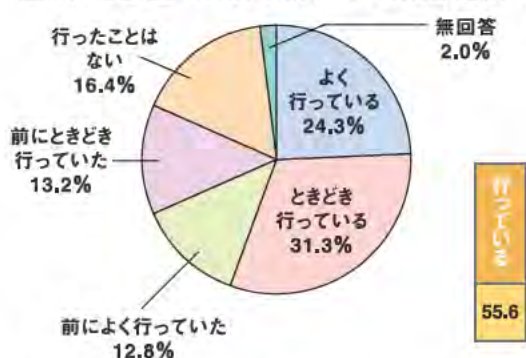


## 3. 市立総合図書館・分館について

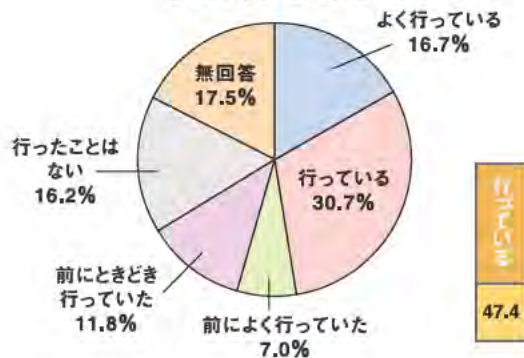
### （1）図書館（学校以外）への来館経験（小2）

小学2年生に、図書館（学校以外）への来館経験について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、「よく行っている」の割合は約7ポイント増加しているほか、『行っている』（＝「よく行っている」＋「ときどき行っている」）の割合も約8ポイント増加しており、5年前に比べて図書館（学校以外）への来館経験が増加している傾向が見られる。

図表 図書館（学校以外）への来館経験（小2）



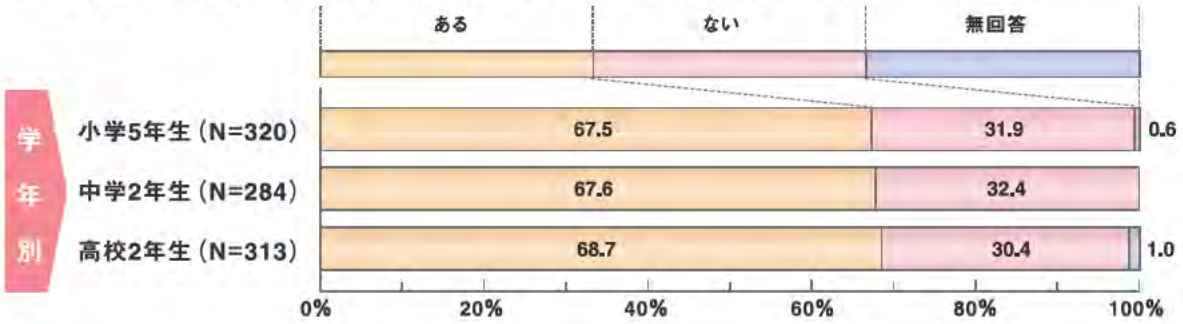
参考：（前回調査）



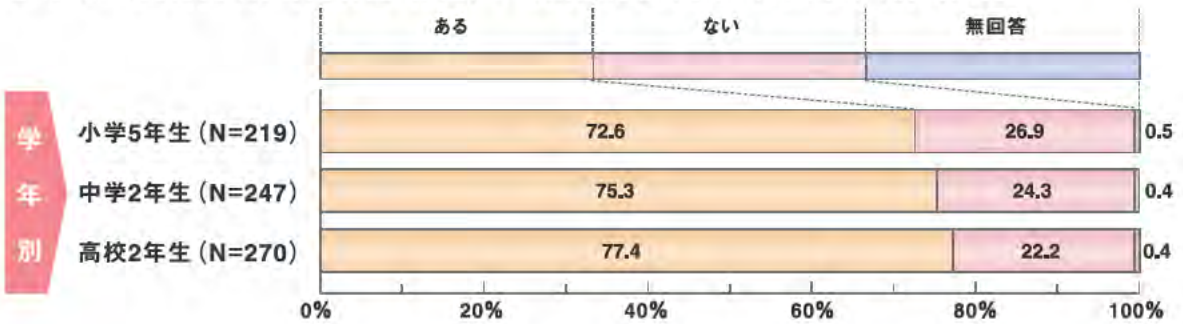
### （2）市立図書館（総合図書館・分館）への来館経験（小5・中2・高2）

小学5年生以上の児童生徒に、市立図書館（総合図書館・分館）への来館経験について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、いずれの学年も「ある」の割合は減少しており、5年前に比べて市立図書館（総合図書館・分館）への来館経験が減少している傾向が見られる。

図表 市立図書館(総合図書館・分館)への来館経験(小5・中2・高2)



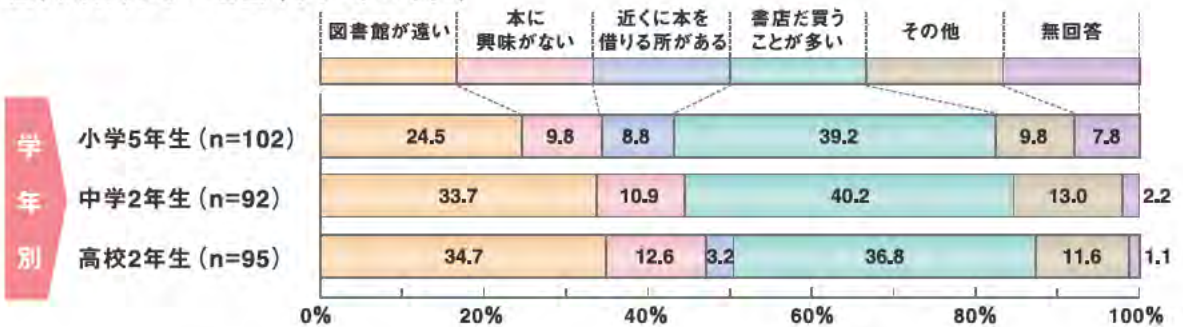
参考:市立図書館(総合図書館・分館)への来館経験(小5・中2・高2)(前回調査)



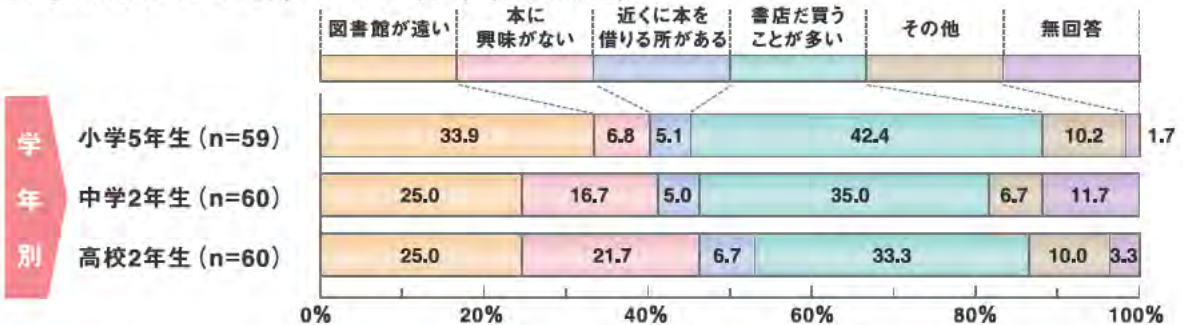
(3) 利用しない理由(小5・中2・高2)

市立図書館(総合図書館・分館)を利用しない児童生徒に、その理由を尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、小学5年生は「図書館が遠い」が約9ポイント減少しているほか、「書店で買うことが多い」も約3ポイント減少している。中学2年生、高校2年生は「図書館が遠い」が増加している一方で、「本に興味がない」が減少している。また、「書店で買うことが多い」の割合が増加している。

図表 利用しない理由(小5・中2・高2)



参考:利用しない理由(小5・中2・高2)(前回調査)



資料編



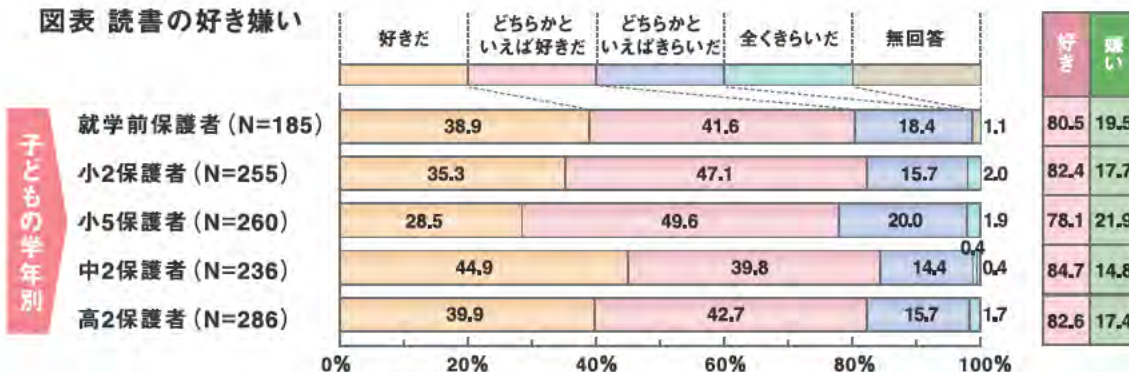
## 第2部 保護者編

### 1. 読書について

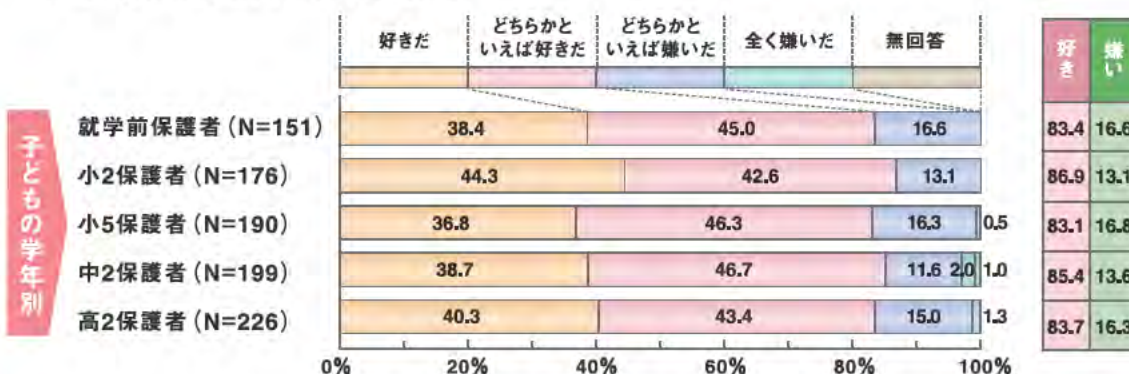
#### (1) 読書の好き嫌い

読書の好き嫌いについて尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、『好き』(=「好きだ」+「どちらかといえば好きだ」)の割合はいずれの保護者も減少している一方で、『嫌い』(=「全くきらいだ」+「どちらかといえばきらいだ」)はいずれの保護者も増加しており、特に小5保護者は『好き』が約5ポイント減少、『嫌い』が約5ポイント増加している。5年前に比べて保護者は全体的に読書離れが進んでいる傾向が見られる。

図表 読書の好き嫌い



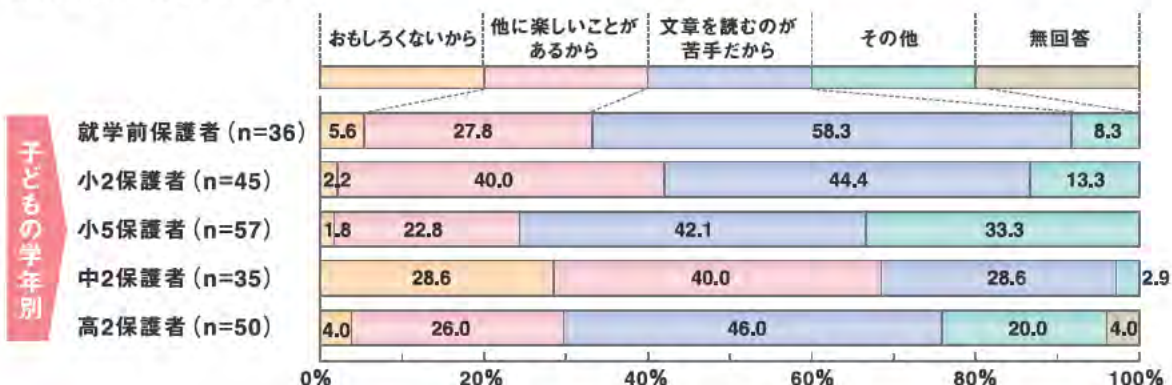
参考: 読書の好き嫌い(前回調査)



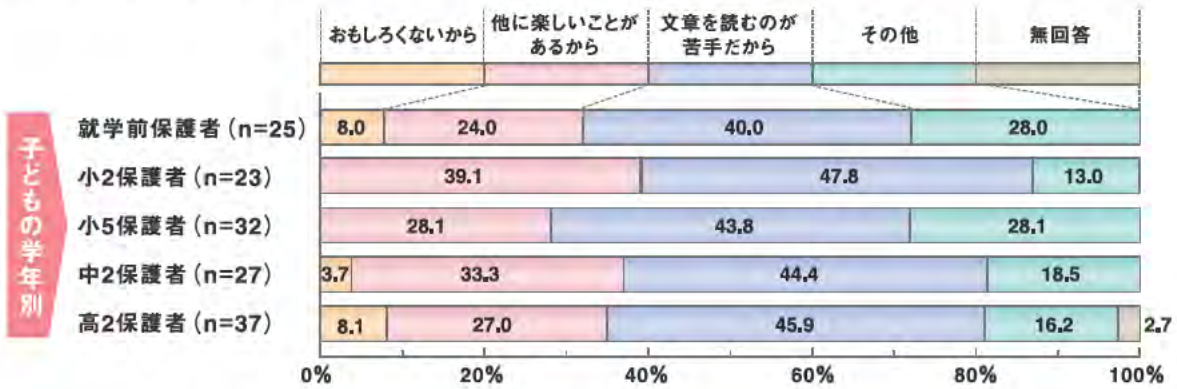
#### (2) 読書が嫌いな理由

読書が嫌いな理由としては、前回調査の結果と比較すると、就学前保護者は「文章を読むのが苦手だから」の割合が約18ポイントも増加しており、5年前に比べて就学前保護者の中で文章に対する苦手意識が増大している傾向が見られる。

図表 読書が嫌いな理由



参考:読書が嫌いな理由(前回調査)

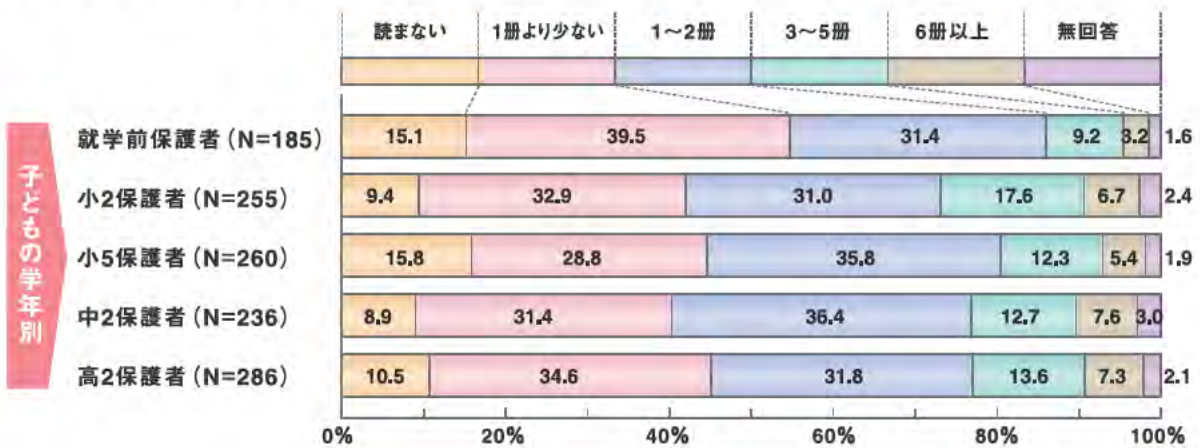


(3) 月間での読書冊数

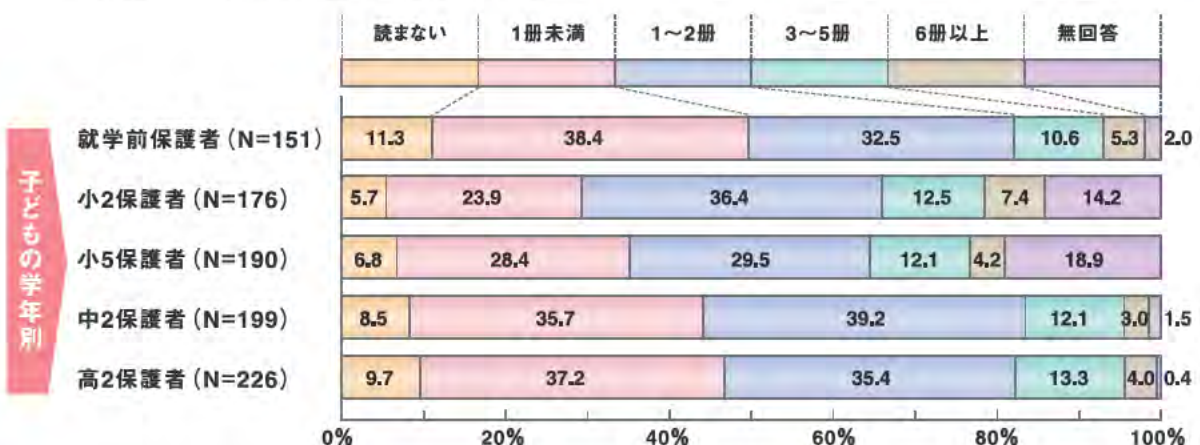
①本

本の読書冊数は、前回調査の結果と比較すると、「読まない」と「1冊より少ない」を合わせた割合は、就学前及び小学生の保護者で増加しており、特に小2保護者は12ポイント以上も増加している。なお、中2保護者は約3ポイント減少、高2保護者は5年前とほぼ同程度となっている。

図表 月間での読書冊数(本)



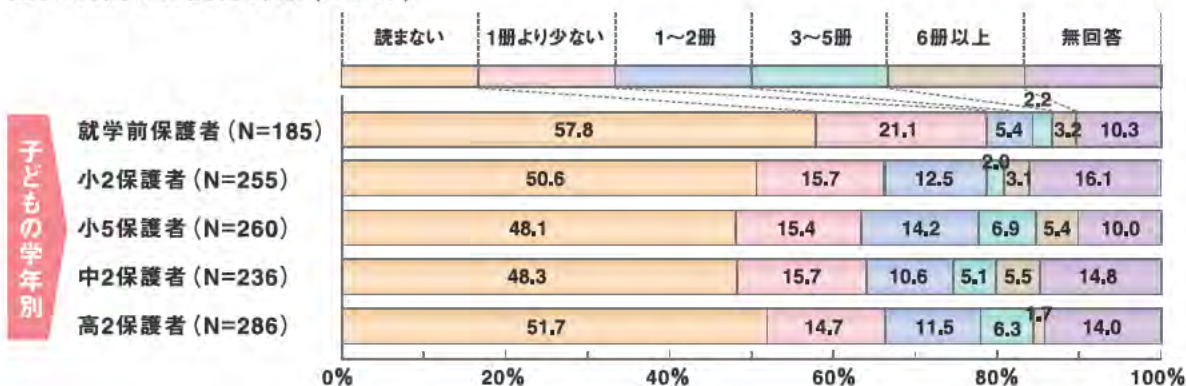
参考:月間での読書冊数(本)(前回調査)



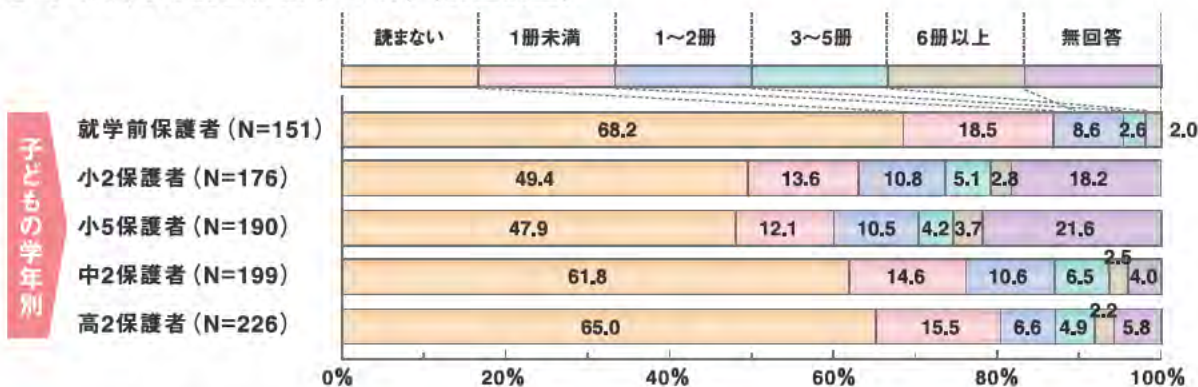
②マンガ

マンガは、前回調査の結果と比較すると、「読まない」の割合は就学前、中2、及び高2保護者で減少し、高2保護者で「1～2冊」の割合が約5ポイント増加している。

図表 月間での読書冊数(マンガ)



参考:月間での読書冊数(マンガ)(前回調査)



(4) 平日での余暇時間の使い方

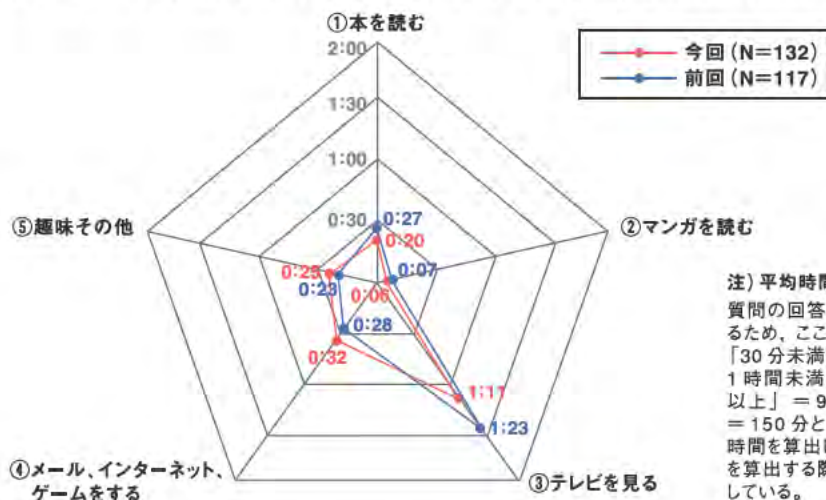
【子どもの学年別に見た平日における余暇時間の過ごし方】

平日における余暇時間の過ごし方の平均時間を算出し、これを子どもの学年別に見た。

①就学前児童の保護者

前回調査の結果と比較すると、「テレビを見る」は平均で12分減少している。なお、「本を読む」も平均で7分減少しており、5年前に比べて「メール、インターネット、ゲームをする」の方が「本を読む」よりも長くなっている。その他は5年前とはほぼ同程度となっている。

図表 平日における余暇時間の過ごし方の平均時間(就学前児童の保護者)

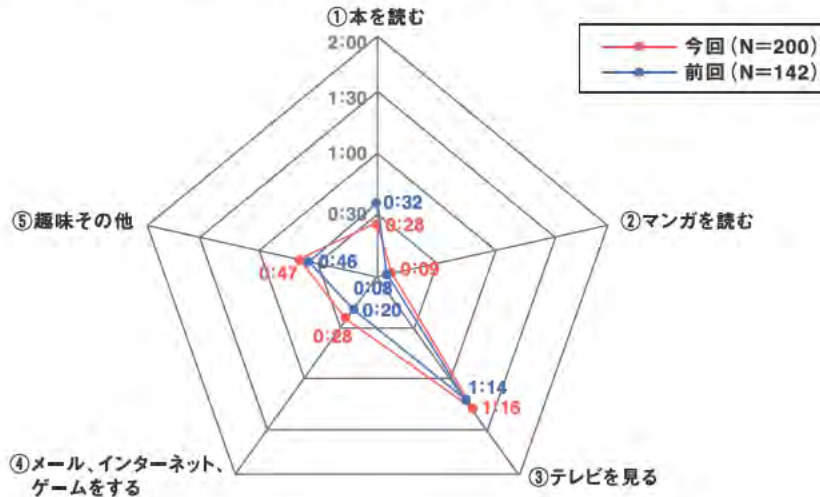


注) 平均時間の算出方法について  
質問の回答は選択肢形式としているため、ここでは「ない」=0分、「30分未満」=15分、「30分~1時間未満」=45分、「1時間以上」=90分、「2時間以上」=150分と設定し、それぞれ平均時間を算出した。なお、平均時間を算出する際、無回答の者は除外している。

②小学2年生の保護者

前回調査の結果と比較すると、「メール、インターネット、ゲームをする」は平均で8分増加しており、5年前に比べて「本を読む」と同程度にまで長くなっている。その他は5年前とほぼ同程度となっている。

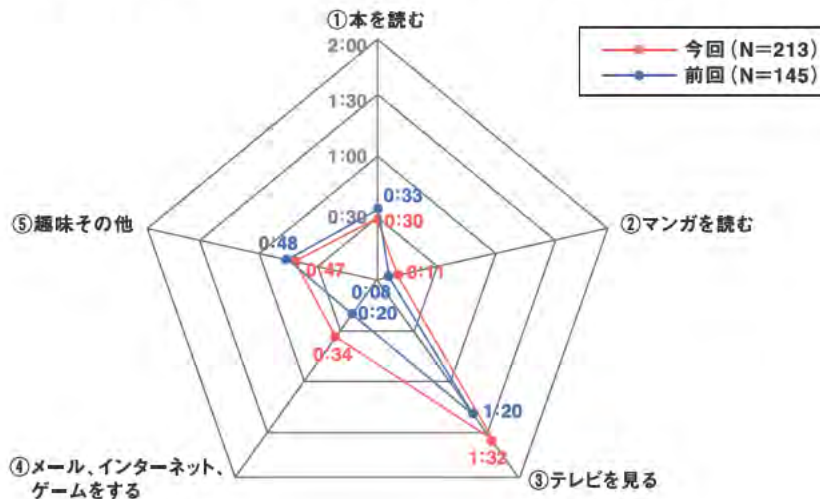
図表 平日における余暇時間の過ごし方の平均時間(小学2年生の保護者)



③小学5年生の保護者

前回調査の結果と比較すると、「テレビを見る」と「メール、インターネット、ゲームをする」が増加しており、「テレビを見る」は平均で12分増加、「メール、インターネット、ゲームをする」は平均で14分増加している。5年前に比べて「メール、インターネット、ゲームをする」は「本を読む」と同程度にまで長くなっている。その他は5年前とほぼ同程度となっている。

図表 平日における余暇時間の過ごし方の平均時間(小学5年生の保護者)

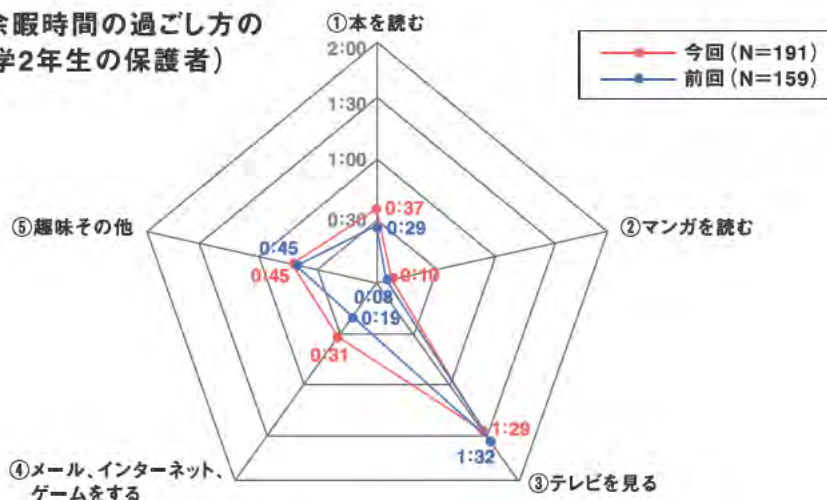


④中学2年生の保護者

前回調査の結果と比較すると、「本を読む」は平均で8分増加しているものの、「メール、インターネット、ゲームをする」は平均で12分増加している。就学前及び小学生の保護者に比べて「本を読む」時間は長いものの、5年前に比べて「メール、インターネット、ゲームをする」は就学前及び小学生の保護者と同様に長くなっている。その他は5年前とほぼ同程度となっている。

資料編

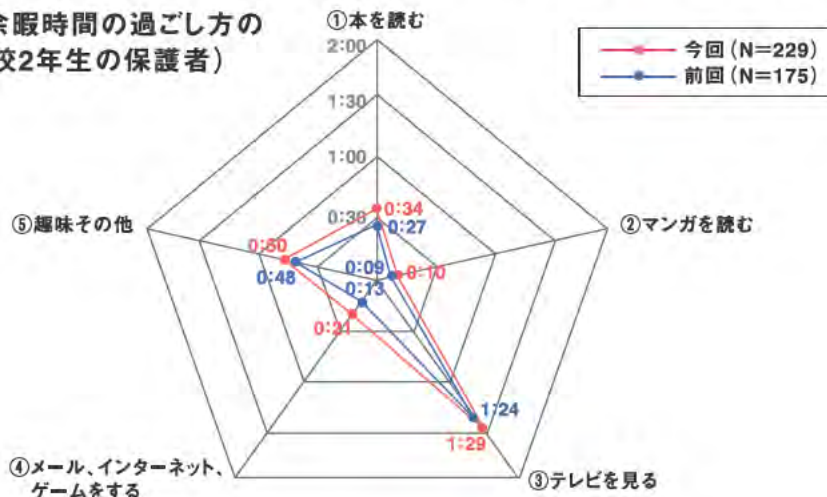
図表 平日における余暇時間の過ごし方の平均時間（中学2年生の保護者）



⑤ 高校2年生の保護者

前回調査の結果と比較すると、「本を読む」は平均で7分増加しているものの、「メール、インターネット、ゲームをする」も平均で8分増加している。中2保護者と同様、就学前及び小学生の保護者に比べて「本を読む」時間は長いものの、5年前に比べて「メール、インターネット、ゲームをする」は他の保護者と同様に長くなっている。その他は5年前とほぼ同程度となっている。

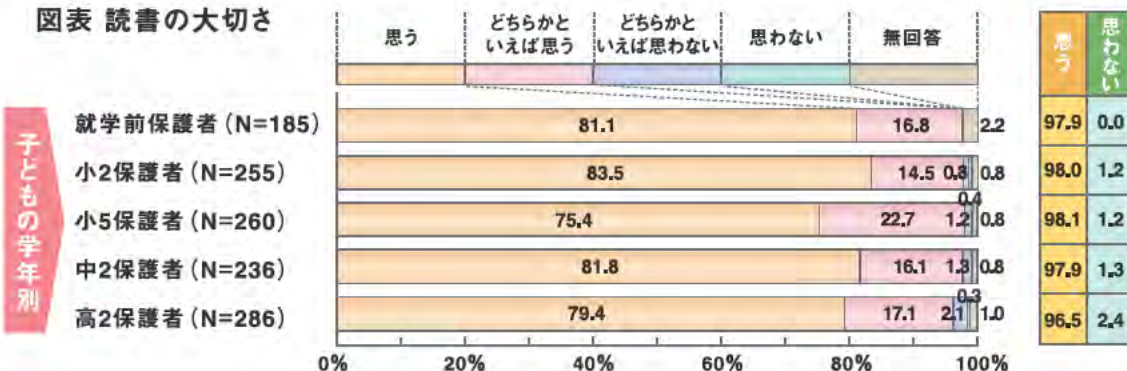
図表 平日における余暇時間の過ごし方の平均時間（高校2年生の保護者）



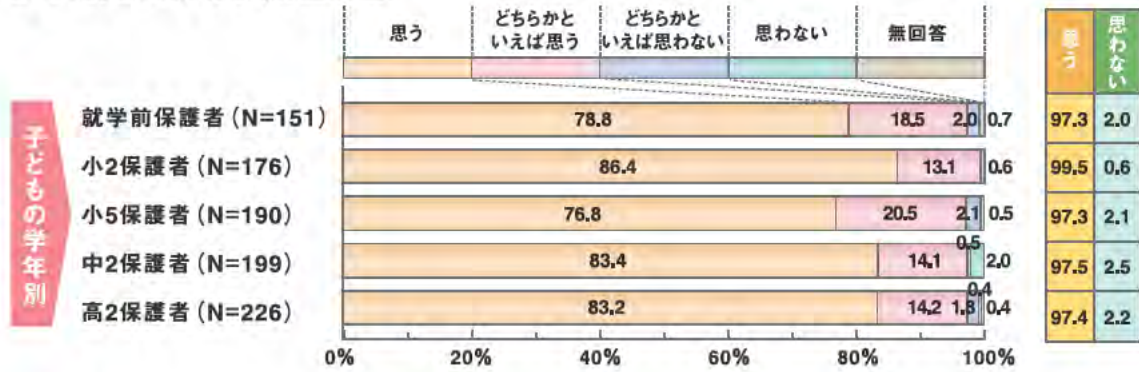
(5) 読書の大切さ

読書の大切さについて尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、「思う」と回答した人の割合の傾向は5年前とほぼ同様で、読書が大切だと『思う』（＝「思う」＋「どちらかといえば思う」）割合も9割を超えている傾向も同じである。読書が大切だと思う保護者の意識は5年前と変わらず高い。

図表 読書の大切さ



参考:読書の大切さ(前回調査)

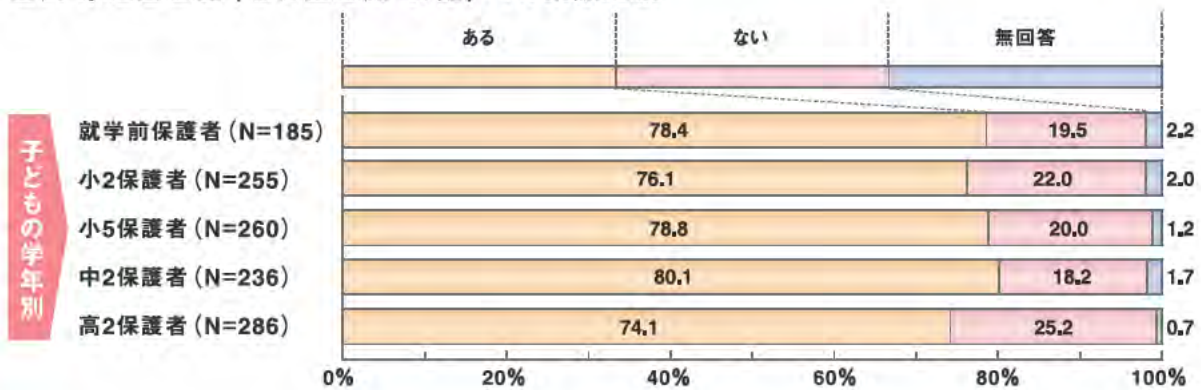


2. 市立総合図書館・分館について

(1) 市立図書館(総合図書館・分館)への来館経験

市立図書館(総合図書館・分館)への来館経験について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、就学前保護者は「ある」の割合が約11ポイント増加しており、5年前に比べて就学前保護者の市立図書館(総合図書館・分館)への来館が増加している傾向が見られる。

図表 市立図書館(総合図書館・分館)への来館経験



参考:市立図書館(総合図書館・分館)への来館経験(前回調査)



(2) 利用しない理由

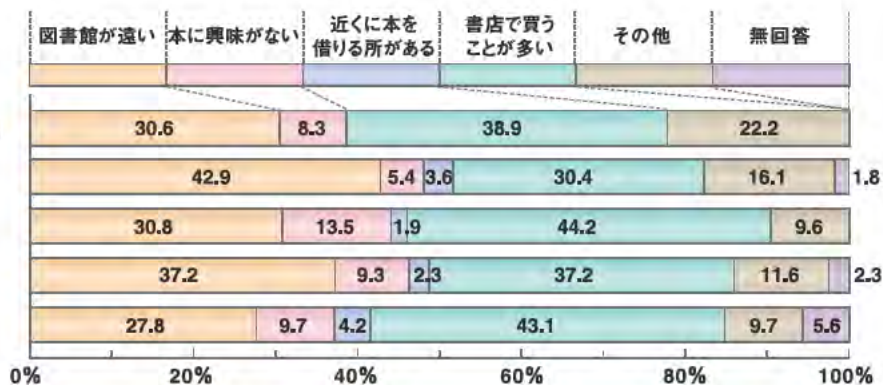
市立図書館(総合図書館・分館)を利用しない理由について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、就学前保護者は「図書館が遠い」の割合が約15ポイント減少している一方で、「書店で買うことが多い」が約8ポイント増加している。小2保護者は逆に「図書館が遠い」が約5ポイント増加している一方で、「書店で買うことが多い」が約14ポイント減少している。小5保護者は「図書館が遠い」が約9ポイント減少しているものの、「書店で買うことが多い」は5年前とほぼ同程度で、「本に興味がない」が約8ポイント増加している。中2保護者は「図書館が遠い」

が増加し、「書店で買うことが多い」の割合が減少しているが、高2保護者は「図書館が遠い」が減少し、「書店で買うことが多い」の割合が増加しており、子どもの学年によって傾向が異なる。

図表 利用しない理由

子どもの学年別

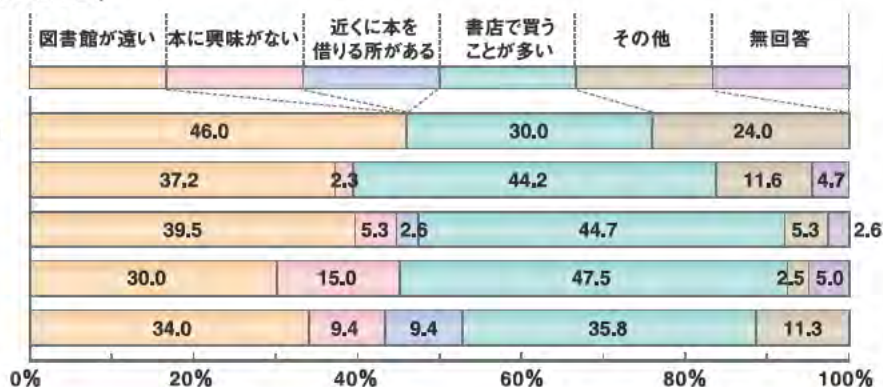
就学前保護者 (N=36)  
小2保護者 (N=56)  
小5保護者 (N=52)  
中2保護者 (N=43)  
高2保護者 (N=72)



参考: 利用しない理由 (前回調査)

子どもの学年別

就学前保護者 (N=50)  
小2保護者 (N=43)  
小5保護者 (N=38)  
中2保護者 (N=40)  
高2保護者 (N=53)



### 3. 読み聞かせについて

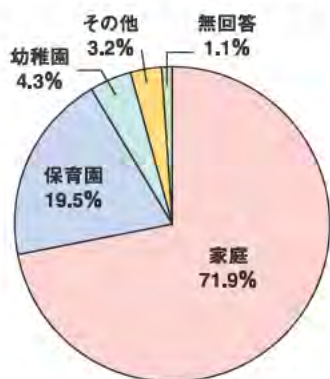
#### (1) 読み聞かせについて

##### ① 就学前保護者

就学前児童が読み聞かせをしてもらっている場所について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、「家庭」の割合が約6ポイント減少している一方で、「保育園」が約7ポイント増加している。5年前に比べて家庭での読み聞かせが減少し、保育園での読み聞かせが増えている。

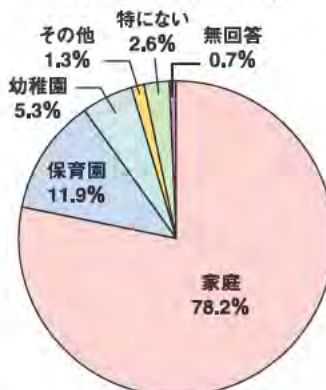
図表 読み聞かせについて (就学前保護者)

就学前保護者 (N=185)



参考: (前回調査)

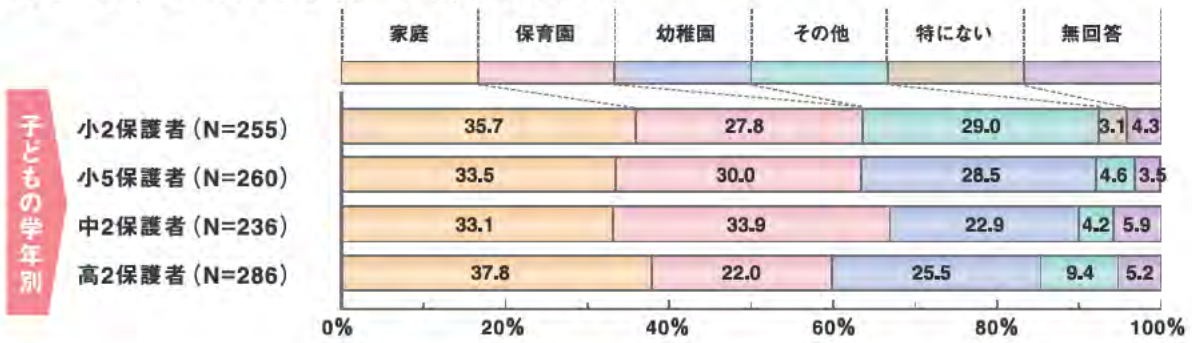
就学前保護者 (N=151)



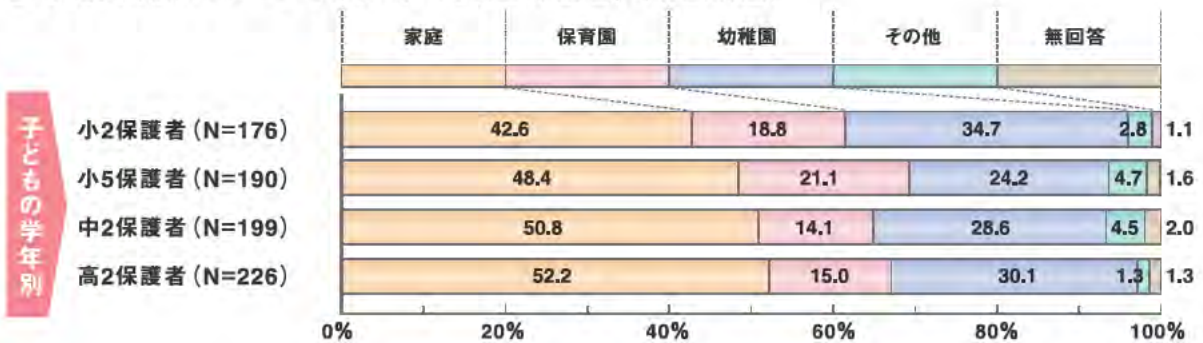
##### ② 小・中・高校生保護者

児童生徒が読み聞かせをもらっていた場所について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、いずれの保護者も「家庭」の割合が減少し、「保育園」の割合が増加している。「幼稚園」の割合も小5保護者以外は減少している。

図表 読み聞かせについて(小・中・高校生保護者)



参考:読み聞かせについて(小・中・高校生保護者)(前回調査)

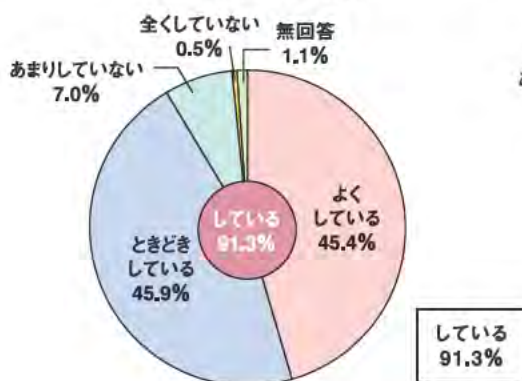


(2) 家庭での読み聞かせについて

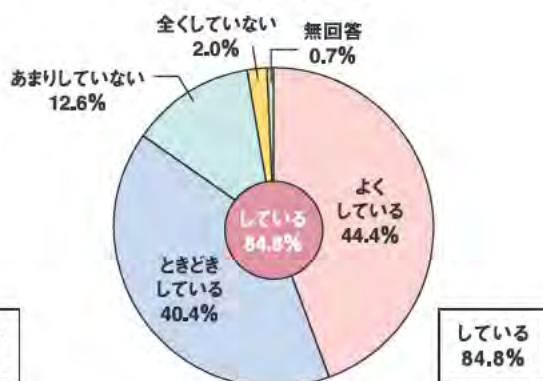
① 就学前保護者

就学前児童の保護者に家庭での読み聞かせについて尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、『している』(=「よくしている」+「ときどきしている」)の割合は約6ポイント増加しており、5年前に比べて家庭で読み聞かせをしている保護者が増えている傾向が見られる。

図表 読み聞かせについて(就学前保護者)  
就学前保護者(N=185)



参考:(前回調査)  
就学前保護者(N=151)



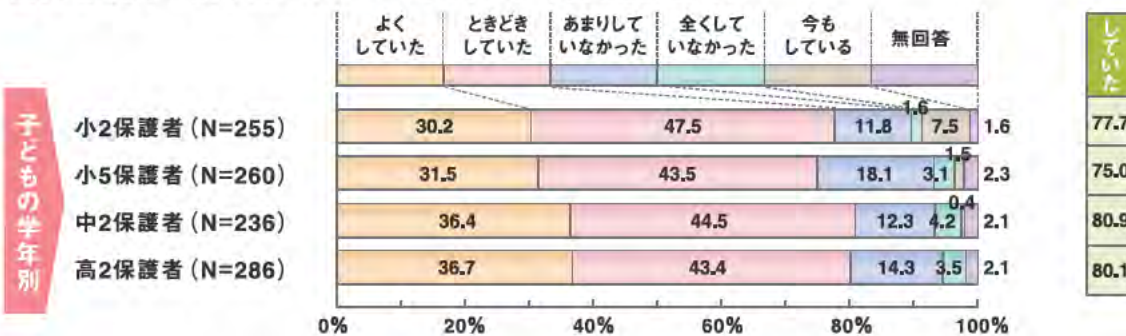
② 小・中・高校生保護者

小学生以上の保護者に家庭での読み聞かせについて尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、小2保護者は「よくしていた」の割合が約10ポイント増加しているほか、読み聞かせを『していた』(=「よくしていた」+「ときどきしていた」)割合も約7ポイント増加している。一方、小5保護者は『していた』割合が約6ポイント減少しているほか、高2保護者も約4ポイント減少している。

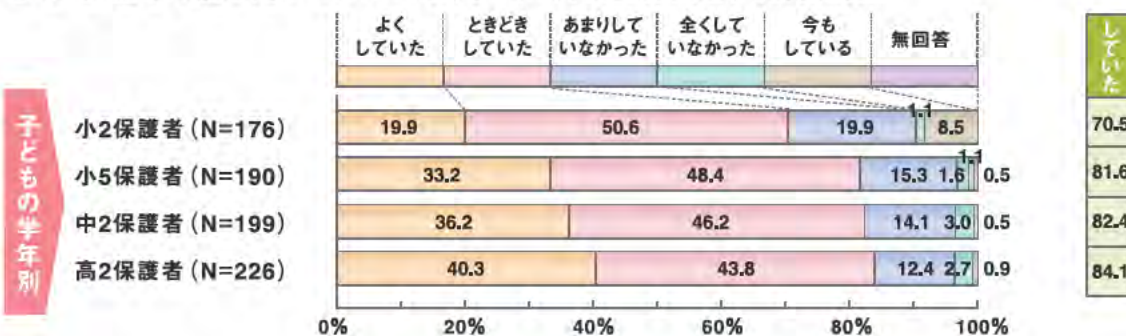
資料編



図表 家庭での読み聞かせについて(小・中・高校生保護者)



参考:家庭での読み聞かせについて(小・中・高校生保護者)(前回調査)



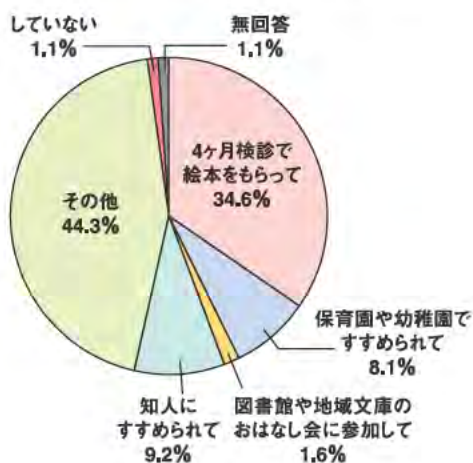
(3) 読み聞かせを始めたきっかけ

① 就学前保護者

就学前児童の保護者が読み聞かせを始めたきっかけとしては、「4ヶ月健診で絵本をもらって」と回答した割合が34.6%で最も多い。次いで「知人にすすめられ」(9.2%)、「保育園や幼稚園ですすすめられて」(8.1%)の順となっている。

図表 読み聞かせを始めたきっかけ(就学前保護者)

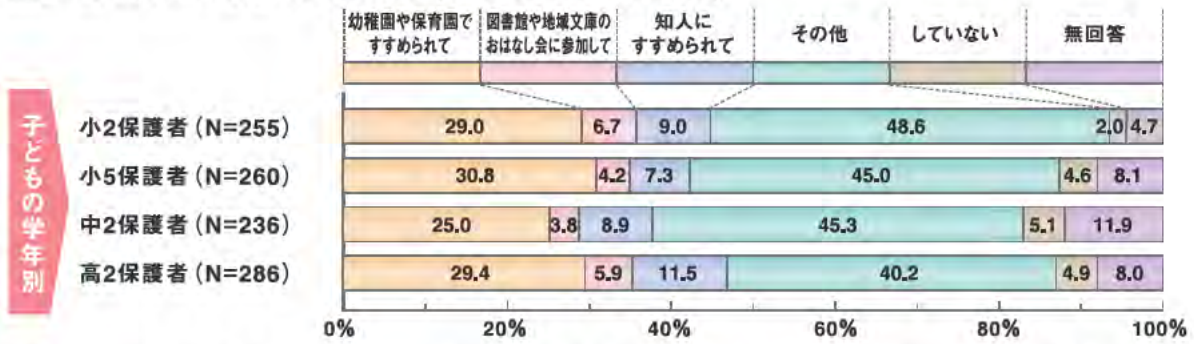
就学前保護者(N=185)



② 小・中・高校生保護者

小学生以上の保護者が読み聞かせを始めたきっかけとしては、いずれの保護者も「保育園や幼稚園ですすすめられて」の割合が最も多くなっている。

図表 読み聞かせを始めたきっかけ(小・中・高校生保護者)



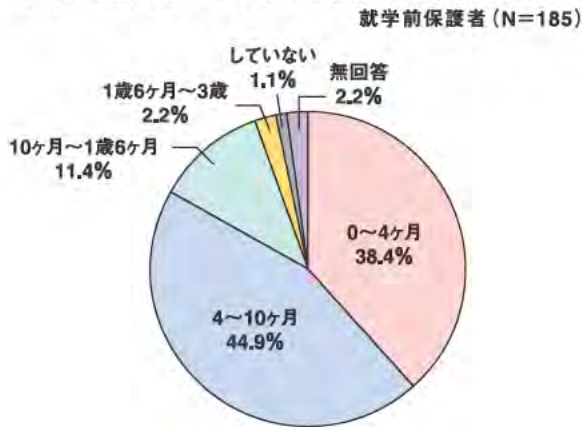
※福岡市では平成16年度から、親子のふれあいや子どもの豊かな心を育むため、4か月健診の機会を利用し、絵本を配り、絵本の読み聞かせを行う「ブックスタート事業」を実施している。

(4) 読み聞かせの開始年齢

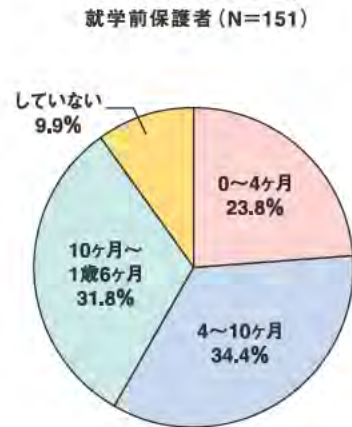
① 就学前保護者

就学前保護者が読み聞かせを始めた年齢については、前回調査の結果と比較すると、「0～4ヶ月」、「4～10ヶ月」のいずれも増加しており、5年前に比べて10か月前から読み聞かせを始めた保護者が増えている傾向が見られる。また、「していない」と回答した保護者の割合も1%程度にまで減少しており、早い時期からの読み聞かせ実施が5年前に比べて浸透している傾向が見られる。

図表 読み聞かせの開始年齢(就学前保護者)



参考:(前回調査)

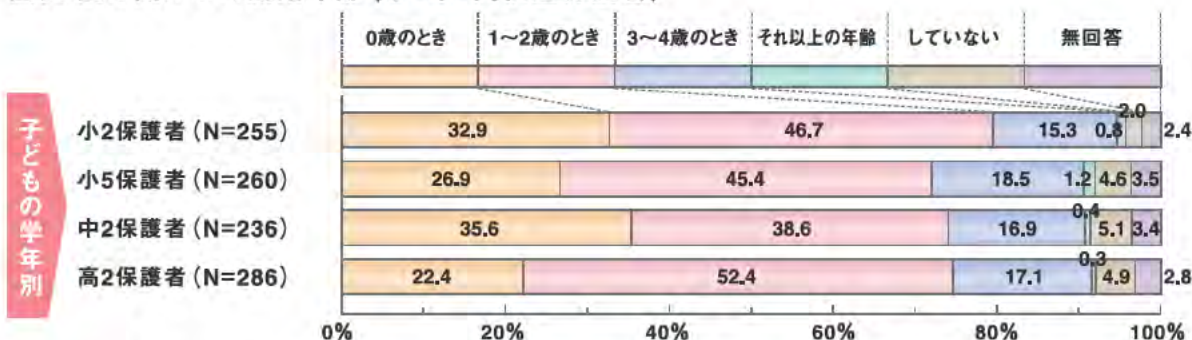


② 小・中・高校生保護者

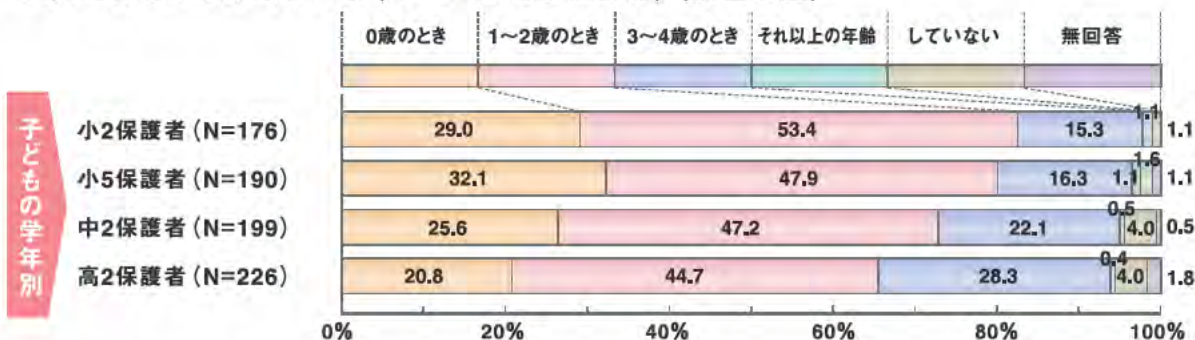
小学生以上の保護者が読み聞かせを始めた年齢については、いずれの保護者も「1～2歳のとき」が最も多く、前回調査の結果と比較すると、小2保護者は「0歳のとき」の割合が約3ポイント増加している一方で、「1～2歳のとき」が約6ポイント減少している。その他の保護者について、「0歳のとき」の割合をみると、小5保護者は約5ポイント減少、中2保護者は約10ポイント増加となっている。高2保護者はほぼ同程度である。

資料編

図表 読み聞かせの開始年齢(小・中・高校生保護者)



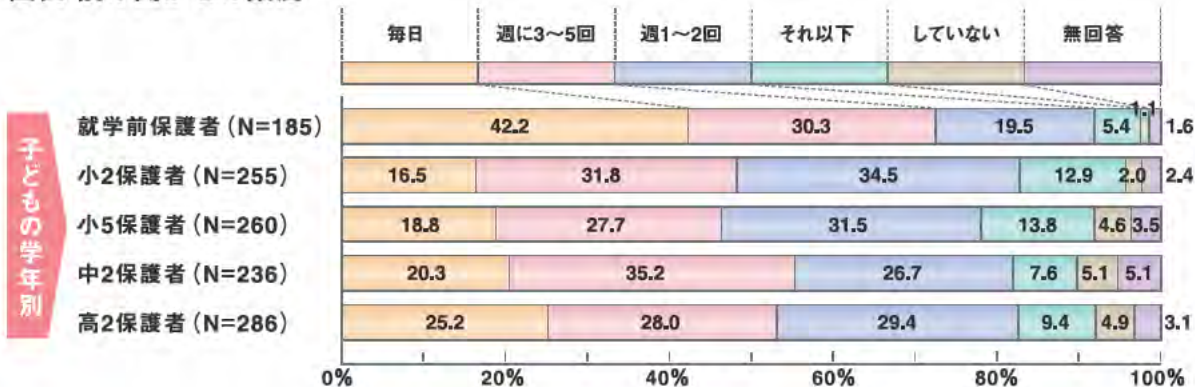
参考:読み聞かせの開始年齢(小・中・高校生保護者)(前回調査)



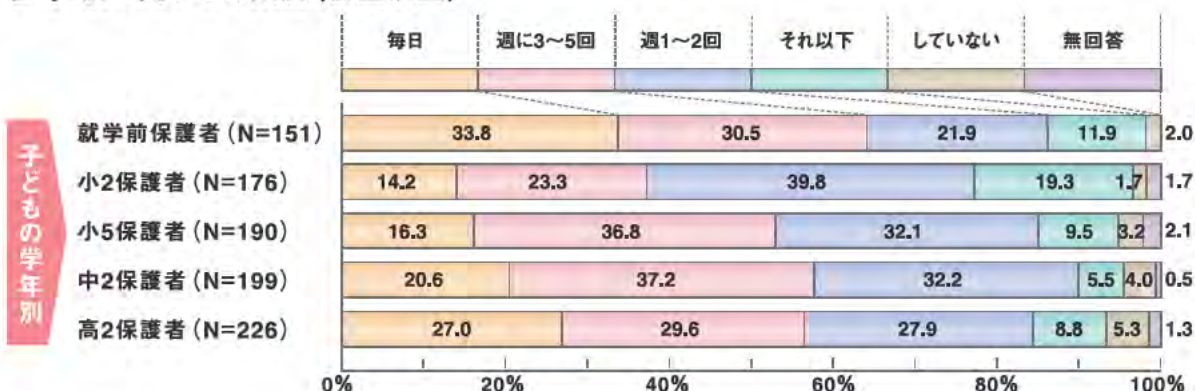
(5) 読み聞かせの頻度

読み聞かせの頻度について尋ねたところ、前回調査の結果と比較すると、就学前保護者は「毎日」の割合が約8ポイント増加している。小2保護者は「毎日」の割合は約2ポイント増と低いものの、「週に3~5回」の割合が約8ポイント増加している。その他の保護者について、小5保護者は「週に3~5回」が約9ポイント減少、中2保護者は「週に1~2回」が約5ポイント減少している。なお、高2保護者は5年前とほぼ同様の傾向となっている。

図表 読み聞かせの頻度



参考:読み聞かせの頻度(前回調査)

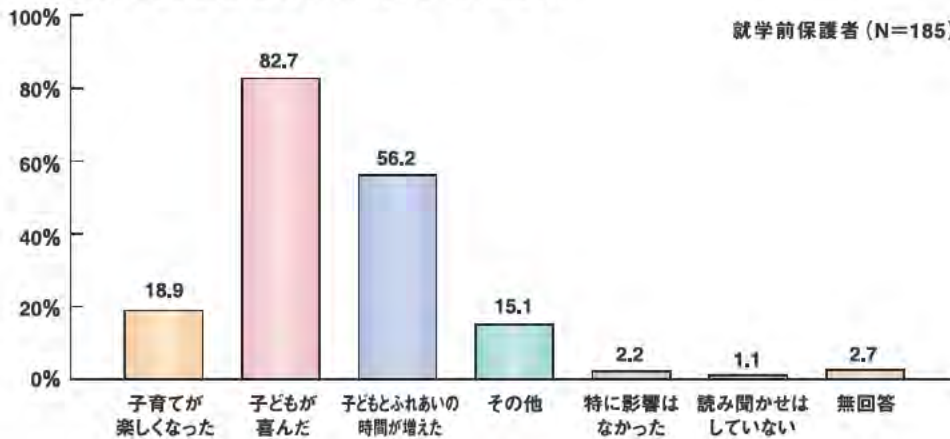


(6) 読み聞かせの影響

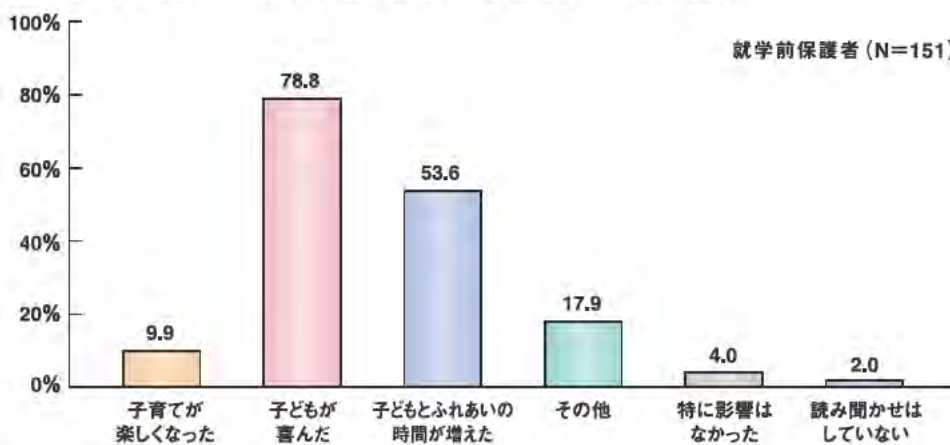
① 就学前保護者

就学前児童の保護者に読み聞かせが子育てにどのような影響があったか尋ねてみたところ、前回調査の結果と比較すると、「子どもが喜んだ」と「子どもとふれあいの時間が増えた」の割合が多い傾向は5年前と同様であるが、「子育てが楽しくなった」の割合が約9ポイント増加している。

図表 読み聞かせの影響(就学前保護者)



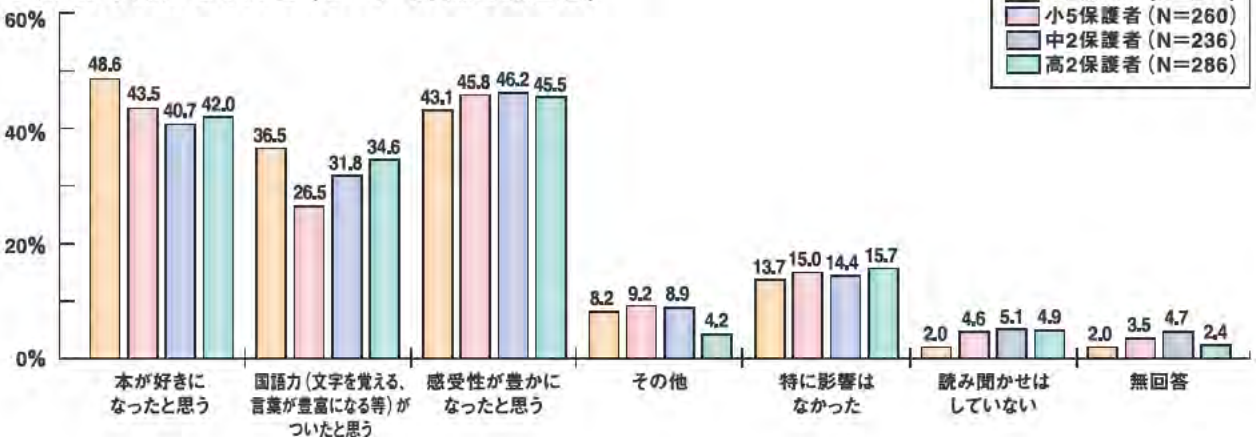
参考: 読み聞かせの影響(就学前保護者)(前回調査)



② 小・中・高校生保護者

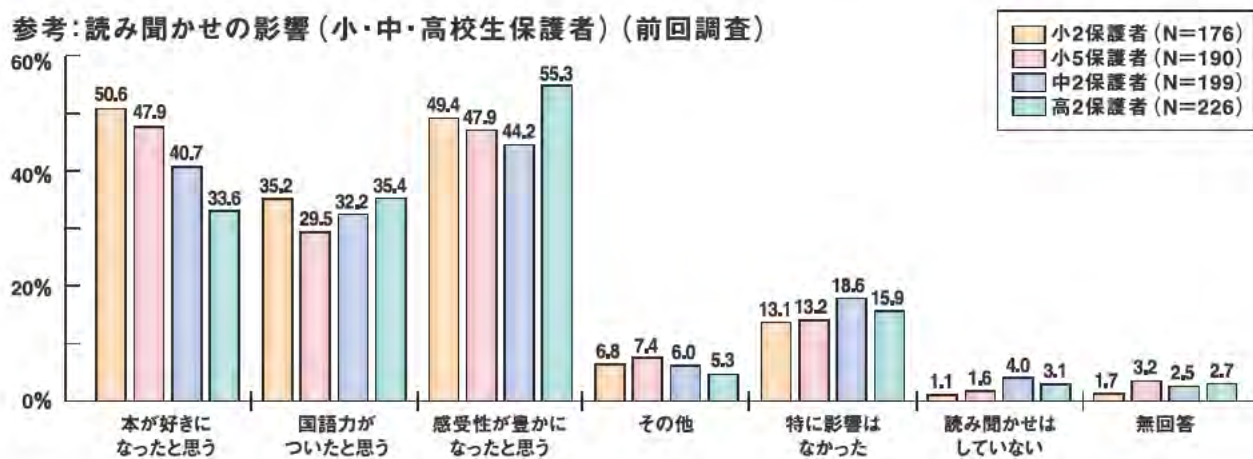
小学生以上の保護者に読み聞かせが子育てにどのような影響があったか尋ねてみたところ、小2保護者は「本が好きになったと思う」(48.6%)が最も多く、小5、中2及び高2保護者はいずれも「感受性が豊かになったと思う」が最も多くなっている。

図表 読み聞かせの影響(小・中・高校生保護者)



資料編

参考：読み聞かせの影響（小・中・高校生保護者）（前回調査）

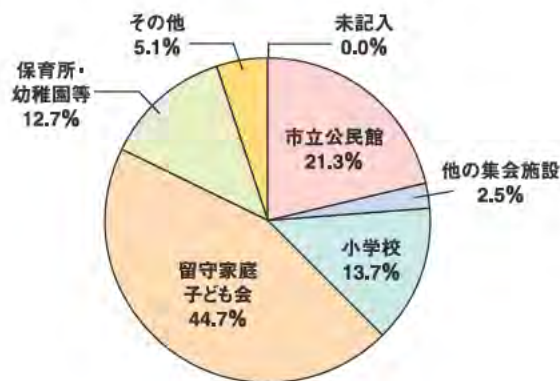


### 第3部 団体編

#### 1. 団体の主な活動場所

読書活動団体の主な活動場所を見ると、「留守家庭子ども会」が44.7%で最も多く、次いで「市立公民館」（21.3%）、「小学校」（13.7%）、「保育所・幼稚園等」（12.7%）、「他の集会施設」（2.5%）の順となっている。

図表 団体の主な活動場所  
全体 (N=197)

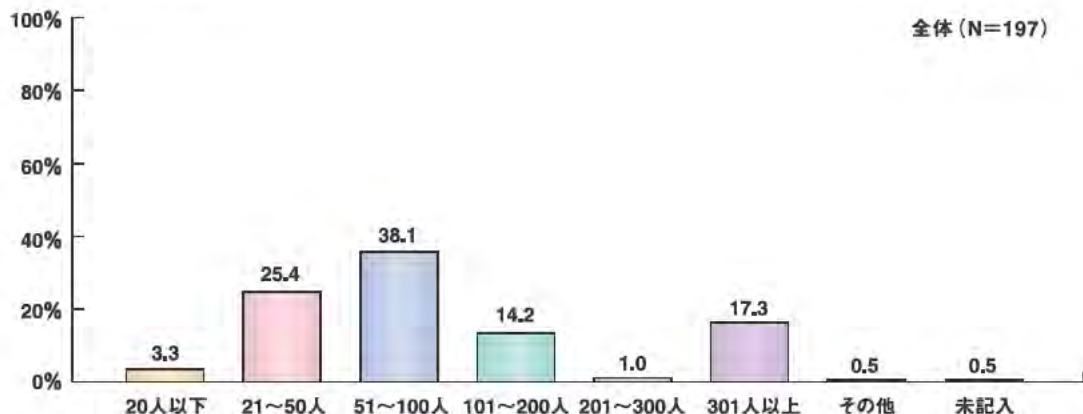


#### 2. 会員数

読書活動団体の会員数を見ると、「51～100人」が38.1%で最も多く、次いで「21～50人」（25.4%）、「301人以上」（17.3%）、「101～200人」（14.2%）の順となっている。

主な活動場所別に見ると、市立公民館と他の集会施設は「21～50人」の割合が最も多い。小学校は「301人以上」の割合が8割を超えて突出している。留守家庭子ども会は「51～100人」が68.2%で最も多い。保育所・幼稚園等は「101～200人」が44.0%で最も多く、次いで「301人以上」（24.0%）の順となっている。

図表 会員数

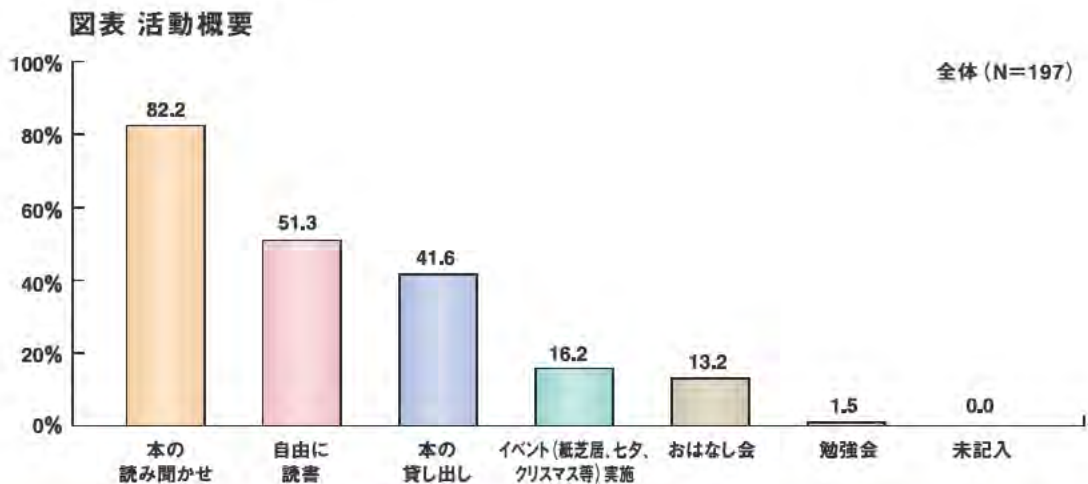


		サンプル数	20人以下	21~50人	51~100人	101~200人	201~300人	301人以上	その他	未記入
全体		197	3.0	25.4	38.1	14.2	1.0	17.3	0.5	0.5
主な活動場所	市立公民館	42	4.8	45.2	19.0	11.9	2.4	11.9	2.4	2.4
	他の集会施設	5	—	60.0	40.0	—	—	—	—	—
	小学校	27	3.7	11.1	—	3.7	—	81.5	—	—
	留守家庭子ども会	88	1.1	18.2	68.2	12.5	—	—	—	—
	保育所・幼稚園等	25	—	16.0	12.0	44.0	4.0	24.0	—	—
	その他	10	20.0	50.0	20.0	—	—	10.0	—	—

### 3.活動概要

各団体の活動内容としては、「本の読み聞かせ」が82.2%で最も多く、次いで「自由に読書」(51.3%)、「本の貸し出し」(41.6%)の順となっている。

主な活動場所別に見ると、市立公民館と他の集会施設は「本の貸し出し」の割合が最も多くなっている。小学校と保育所・幼稚園等は「本の読み聞かせ」が最も多いが、保育所・幼稚園等は「本の貸し出し」も80.0%と多くなっている。なお、留守家庭子ども会は「本の読み聞かせ」と「自由に読書」がいずれも96.6%で最も多くなっている。



		サンプル数	本の読み聞かせ	自由に読書	本の貸し出し	イベント(紙芝居、七夕、クリスマス等)実施	おはなし会	勉強会	未記入
全体		197	82.2	51.3	41.6	16.2	13.2	1.5	—
主な活動場所	市立公民館	42	61.9	7.1	92.9	35.7	33.3	2.4	—
	他の集会施設	5	60.0	40.0	80.0	20.0	—	—	—
	小学校	27	77.8	11.1	33.3	29.6	22.2	3.7	—
	留守家庭子ども会	88	96.6	96.6	5.7	4.5	—	—	—
	保育所・幼稚園等	25	84.0	16.0	80.0	12.0	12.0	—	—
	その他	10	60.0	40.0	50.0	10.0	30.0	10.0	—

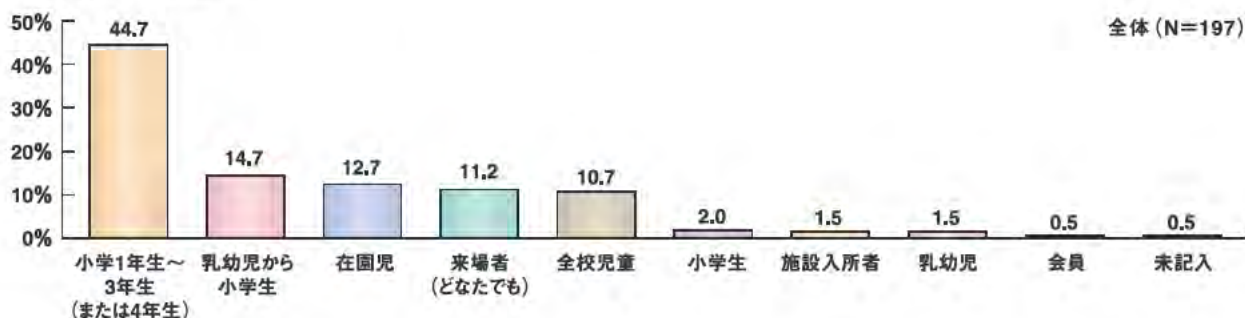
資料編

## 4.対象者

利用できる対象者としては、「小学1年生～3年生（または4年生）」が44.7%で最も多くなっている。次いで「乳幼児から小学生」（14.7%）、「在園児」（12.7%）、「来場者（どなたでも）」（11.2%）、「全校児童」（10.7%）の順となっている。

主な活動場所別に見ると、市立公民館は「乳幼児から小学生」（52.4%）が最も多く、次いで「来場者（どなたでも）」（45.2%）の順となっている。他の集会施設は「乳幼児」（40.0%）が、小学校は「全校児童」（77.8%）が最も多い。なお、留守家庭子ども会は「小学1年生～3年生（または4年生）」、保育所・幼稚園は「在園児」のみ対象となっている。

図表 対象者



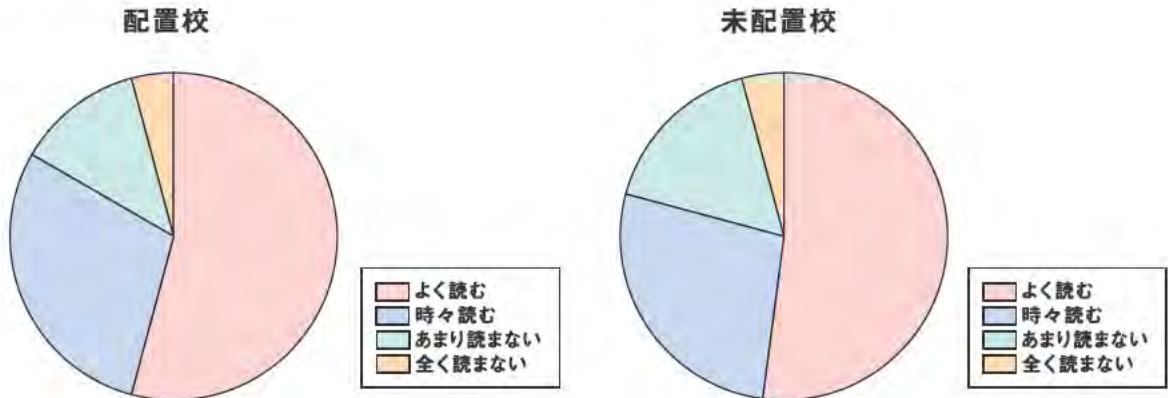
	サンプル数	小学1年生～3年生(または4年生)	乳幼児から小学生	在園児	来場者(どなたでも)	全校児童	小学生	施設入所者	乳幼児	会員	未記入
全体	197	44.7	14.7	12.7	11.2	10.7	2.0	1.5	1.5	0.5	0.5
主な活動場所	市立公民館	42	—	52.4	—	45.2	—	—	2.4	—	—
	他の集会施設	5	—	20.0	—	20.0	20.0	—	40.0	—	—
	小学校	27	—	3.7	—	3.7	77.8	7.4	—	3.7	3.7
	留守家庭子ども会	88	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	保育所・幼稚園等	25	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	その他	10	—	50.0	—	10.0	—	10.0	30.0	—	—

# 子どもの声（中学校図書委員に対するアンケート）

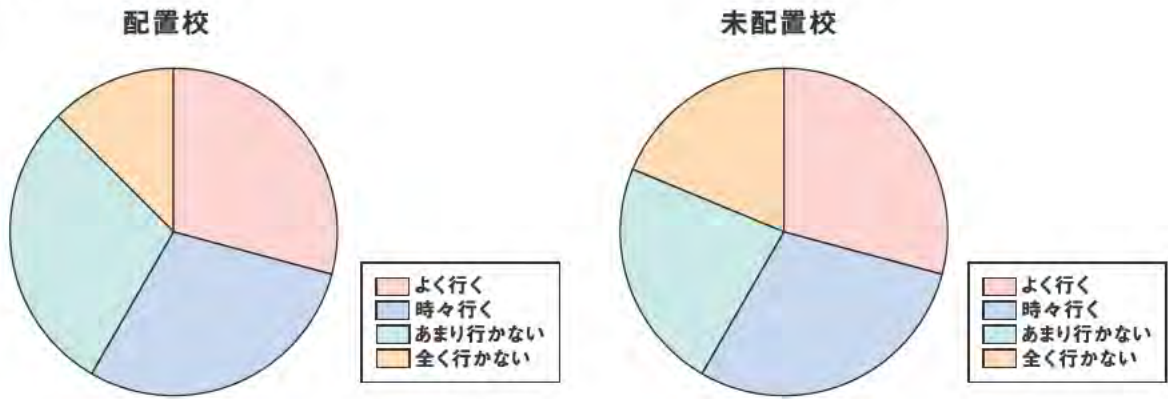
下記は、福岡市子ども読書活動推進計画（第2次）の策定にあたり、福岡市中学校図書館教育研究会が中学校の図書委員（司書配置校15校332人、司書未配置校13校254人）に対し、読書活動についてのアンケートを行った結果を集計したものである。

（平成23年9月開催の福岡市中学校生徒図書委員交流会において公表）

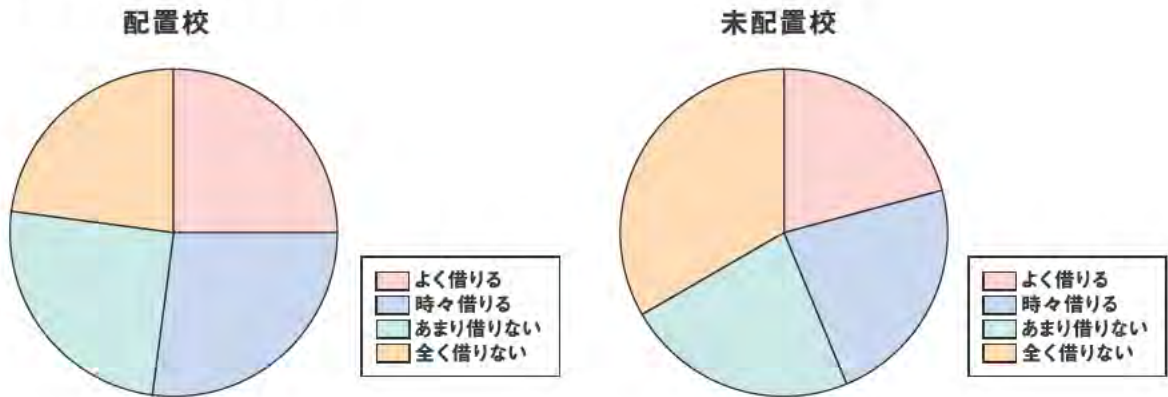
## 1.本をよく読みますか。



## 2.図書館に行きますか。



## 3.図書館で本をかりますか。





#### 4.皆さんの図書室では、どのような活動がなされていますか。下からいくつでも選び、記号に○をつけてください。

- ア. どこにどんな本があるか、わかりやすく並んでいる。  
 イ. 本をジャンル別に整理し、ジャンルごとの紹介をしている。  
 ウ. お薦めの本や興味のある本を紹介する。  
 エ. 人気の本は目立つ場所に置く。  
 オ. 図書便りなどであらすじを紹介する。  
 カ. 本の人気ランキングをつくる。  
 キ. 幅広い分野の本や人気のある本を購入する。  
 ク. その他

配置校	未配置校
197	150
164	137
200	121
175	113
101	65
63	42
126	104

##### ◎配置校

- 入館者調べ
- 夏・冬休みの長期特別貸し出し
- たくさんの本を読んだ人のランキング発表
- 読み聞かせ(2人)
- うるさい人を注意
- 新刊図書のコーナーがある。
- 本がきれい。
- リクエストがあった本を購入。

##### ◎未配置校

- 日本十進分類法の通り並べてある。
- ポスターを作る。
- 本の貸し出し
- 著者別に整理している(2人)
- 高価な本を購入する。
- 本の修理をしている。
- 図書館祭りがある。
- 新刊を目立つところにおいている。

#### 5.あなたが本を読むようになったきっかけはなんですか。いくつでも選び、記号に○をつけてください。

- ア. 図書館で見つけた。  
 イ. テレビや雑誌で知った。  
 ウ. 本屋で見た。  
 エ. 友達に紹介してもらった。  
 オ. 司書の先生に紹介してもらった。  
 カ. 学校の先生に紹介してもらった。  
 キ. 家族に紹介してもらった。  
 ク. その他

配置校	未配置校
142	101
100	68
204	157
125	99
21	
22	21
74	56

##### ◎配置校

- 映画をみておもしろかったので、原作を読もうと思った。
- 本が好きだったから、小さいころから本を読んでいたから。(2人)
- 叔父、叔母が本やなので。
- 外で遊べないとき。
- 小学校の学級文庫でおもしろいを見つけたから。
- 興味・関心があったから。
- 家族の影響。

- 本の作者と知り合いだから、その人にもらった。
- なんとなく。(3人)
- インターネットで見た。
- 書名にひかれたから。
- 物心ついたときには読むのが当たり前になっていた。(2人)
- 表紙や中身をパラパラ見て。(2人)
- おもしろい本に出会ってから。
- 好きな作家ができたから。
- 活字中毒だから。
- 漫画本が好きだから。
- ドラマとかが小説になったから。

◎未配置校

- インターネットで見た。(2人)
- もともと好きだった。
- 図書副委員長になったから。
- 親に薦められた。
- 一冊読んでみたらおもしろかった。
- その作者が好きだから。
- 小さいころから家にあったから。
- 朝読書
- 映画の原作を読んだ。
- わからない。(3人)

6. (司書配置校だけの設問) 司書の先生に、どのようなことをしてもらっていますか。いくつかも選び、記号に○をつけてください。

ア. 新刊購入の際に意見を聞いた。	83
イ. 図書館の整理, 図書室の管理を手伝ってもらった。	170
ウ. 読書用の本を選ぶときに相談にのってもらった。	90
エ. 調べ学習の本を探してもらった。	93
オ. 図書委員会の仕事をいっしょにしてもらった。	115
カ. ブックトークや読み聞かせをしてもらった。	65
キ. その他	
●図書館利用で注意された。	
●本のラベルの見方を教えてもらった。	
●ライブラリライフフェスティバルの相談	
●仕事のやり方を教えてもらった。	
●本についていろいろ教えてもらった。	
●おもしろい話を教えてもらった。	
●図書室の利用の仕方を教えてもらった。	

# 福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

## (設置目的)

第1条 子どもの読書活動の推進、充実及び環境整備を図ることを目的に平成17年3月に策定された「福岡市子ども読書活動推進計画」(以下「読書推進計画」という。)が策定から5年を経過したことに伴い、これまでの成果と課題を整理し、本市の読書推進計画を改定するために、福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

## (所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 読書推進計画の策定に関すること。
- (2) その他必要な事項に関すること。

## (策定委員会の組織)

第3条 策定委員会は、別表1に掲げる委員をもって構成する。

2 委員の互選により、委員長及び副委員長をおく。

3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けたとき又は委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

5 委員の任期は、策定委員会設置の日から平成23年3月31日までとする。

## (会議の招集)

第4条 策定委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要に応じて委員以外の出席を求めることができる。

## (ワーキンググループの設置)

第5条 読書推進計画の策定のため、策定委員会にワーキンググループを設置する。

2 ワーキンググループは、別表2に掲げる者をもって構成する。

## (事務局)

第6条 策定委員会の事務局は、教育委員会教育支援部生涯学習課に置くものとする。

## (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が定める。

## 附 則

この要綱は、平成22年4月14日から施行する。

## 福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿

## ◎委員 23人

(敬称略)

分野	所属・役職	氏名
学識経験者	九州情報大学副学長	安藤 延男
	佐賀女子短期大学准教授	白根 恵子
社会教育関係者	福岡市社会教育委員会議委員長	松尾 祐作
学校図書館関係者	中学校図書館教育研究委員会会長(元岡中学校長)	花木 成慈
	小学校図書館教育研究委員会委員長(舞鶴小学校長)	吉野 美智子
	司書教諭(春住小学校教諭<~平成23年3月>) (長丘小学校教諭<平成23年4月~>)	池田 さくも
	学校司書(高取小・高取中)	片桐 由美子
	特別支援学校長(東福岡特別支援学校)	小関 正利
家庭教育関係者	福岡市PTA協議会副会長	多比良 啓子
ボランティア活動者	ブックスタートボランティア(絵本ふれあいタイム早良区代表)	田中 兆子
	学校図書館ボランティア(福岡市学校図書館よみきかせボランティアネットワーク)	甲斐 景子
	図書館おはなしボランティア(福岡おはなしの会代表)	八尋 理恵
	地域文庫活動者(小田部文庫)	鎌 しずこ
図書館関係者	図書館司書(総合図書館読書相談員)	小久井明京美
コミュニティ	公民館長(筑紫丘公民館長・福岡市公民館館長会副会長)	橋本 治美
書店組合	書店組合代表(福岡県書店商業組合理事長)	山口 尚之
子ども行政	こども未来局こども部こども発達支援課長	西野 達彦
	同上(平成23年4月~)	古賀 俊次
	こども未来局子育て支援部保育所指導課長	福嶋 利明
コミュニティ行政	市民局コミュニティ推進部公民館支援課長	北崎 博三
	同上(平成23年4月~)	近藤 暢也
教育行政	教育委員会教育支援部学校支援課長	橋爪 秀三
	教育委員会指導部学校指導課長	長谷川 弘明
	同上(平成23年4月~)	穴井 福代
	教育委員会総合図書館図書利用課長	大串 計司
	教育委員会総合図書館図書サービス課長 (平成23年4月~ 図書利用課から図書サービス課へ組織変更)	淵 清隆
	教育委員会教育支援部生涯学習課長	安部 修

福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会ワーキンググループ

分野	所属・役職
学校図書館関係	教育委員会教育支援部学校支援課指導計画係長 教育委員会指導部学校指導課主任指導主事 教育委員会教育センター研究支援課研究支援係長
公立図書館関係	教育委員会総合図書館図書サービス課読書普及係長
ブックスタート関係	こども未来局こども部こども発達支援課母子保健係長
乳幼児関係	こども未来局子育て支援部保育所指導課研修第1係長
コミュニティ行政	市民局コミュニティ推進部公民館支援課公民館係長
社会教育 (取りまとめ)	教育委員会教育支援部生涯学習課長 教育委員会教育支援部生涯学習課生涯学習係長



## 福岡市子ども読書活動推進計画（第2次）策定の経過

月 日	内 容
平成13年12月12日	子どもの読書活動の推進に関する法律 施行
平成14年8月2日	子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画 策定
平成16年2月	福岡県子ども読書活動推進計画 策定
平成17年3月	福岡市子ども読書活動推進計画 策定
平成20年3月	子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第2次） 策定
6月6日	国民読書年に関する決議
平成21年11月	子どもの読書活動に関する意識調査 開始
12月	子どもの読書活動に関する意識調査 終了
平成22年3月	福岡県子ども読書活動推進計画（改訂版） 策定
4月14日	福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会 設置
5月25日	第1回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
6月8日	第1回福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催
7月1日	第2回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
8月3日	第3回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
8月27日	第2回福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催
9月8日	福岡市中学校生徒図書委員交流会 開催
9月24日	第4回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
10月15日	第5回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
10月26日	第3回福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催
平成23年1月24日	第6回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
3月1日	新・福岡市子ども読書活動推進計画原案パブリックコメント手続（市民からの意見募集） 開始
3月31日	新・福岡市子ども読書活動推進計画原案パブリックコメント手続（市民からの意見募集） 終了
4月13日	第7回福岡市子ども読書活動推進計画ワーキンググループ 開催
5月19日	第4回福岡市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催
5月	福岡市子ども読書活動推進計画（第2次） 策定

# 国民読書年に関する決議（平成20年6月6日）

## <衆議院本会議>

### 国民読書年に関する決議（第一六九回国会、決議第二号）

文字・活字は、人類が生み出した文明の根源をなす崇高な資産であり、これを受け継ぎ、発展させて心豊かな国民生活と活力あふれる社会の実現に資することは、われわれの重要な責務である。

しかしながら、我が国においては近年、年齢や性別、職業等を越えて活字離れ、読書離れが進み、読解力や言語力の衰退が我が国の精神文明の変質と社会の劣化を誘引する大きな要因の一つとなりつつあることは否定できない。

我が国の国会はこうした危機意識から、平成十一年（西暦一九九九年）に「子ども読書年に関する決議」を衆参両院で採択、平成十三年（西暦二〇〇一年）には「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定、さらに平成十七年（西暦二〇〇五年）には「文字・活字文化振興法」を制定し、具体的な施策の展開を政府とともに進めてきた。

学校における「朝の読書運動」の急速な浸透、読書の街づくりの広がり、様々な読書グループの活性化など、国民の間の「読み・書き」運動の復活、振興などはその効果の顕著な例である。

こうした気運の一層の発展をめざし、われわれは「文字・活字文化振興法」の制定から五年目の平成二十二年（西暦二〇一〇年）を新たに「国民読書年」と定め、政官民協力のもと、国をあげてあらゆる努力を重ねることをここに宣言する。

右決議する。

## <参議院本会議>

### 国民読書年に関する決議

文字・活字によって、人類はその英知を後世に伝えてきた。この豊穡で深遠な知的遺産を受け継ぎ、更に発展させ、心豊かな社会の実現につなげていくことは、今の世に生きる我々が負うべき重大な責務である。

しかし、近年我が国でも「活字離れ」と言われて久しく、年齢層を問わず、読書への興味が薄れていると言わざるを得ない。これが言語力、読解力の衰退や精神文明の変質の大きな要因の一つとなりつつあることは否定できない。

我々はこの事実を深刻なものと受け止め、読書の価値を見直し、意識の啓発を目指し、政府と協力してあらゆる活動を行ってきた。一九九九年に「子ども読書年に関する決議」を両院で採択、二〇〇一年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」を立法、さらに二〇〇五年には「文字・活字文化振興法」を制定し、具体的な施策の展開を推し進めてきた。

それらに呼応して「朝の十分間読書運動」の浸透、読書の街づくりの広がり、様々な読書に関する市民活動の活性化など、読書への国民の意識は再び高まりつつある。

この気運を更に高め、真に躍動的なものにしていくため、二〇一〇年を新たに「国民読書年」と定めたいと思う。これにより、政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねることをここに宣言する。

右決議する。

# 子どもの読書活動の推進に関する法律

## (目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

## (基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

## (国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

## (地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

## (事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

## (保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

## (関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

## (子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。



- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

**(都道府県子ども読書活動推進計画等)**

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

**(子ども読書の日)**

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

**(財政上の措置等)**

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

**附 則**

この法律は、公布の日から施行する。

# 福岡市子ども読書活動推進計画（第2次）体系図

## 基本目標

つくろう ことば輝く街  
～子どもと本をつなぐ環境づくり～

- (1) いつでもどこでも自分から読書に親しめる環境の整備
- (2) 大人も子どもも読書に親しめる機会の提供
- (3) 子どもの読書活動を支える人材の育成
- (4) メディアとのよい関係づくりと「福岡市子どもと本の日」、「共読（ともどく）」等の推進
- (5) 市民全体として子どもの読書活動を支えるしくみづくり

## 数値目標

- \*読書が好きな子どもの割合……………**90%以上**
- \*1か月に本を1冊も読まない子どもの割合………**5%減**

### 4つの取り組み分野

#### 1. 家庭・地域を中心にした読書活動の推進

##### 重要施策

- 読書ボランティアとの連携〈新規〉
- ブックスタート事業に続く施策の検討〈新規〉

##### その他の施策

- ブックスタート事業
- 公民館における子どもの読書活動の推進と支援
- 保育所での保護者への読書の重要性についての啓発
- 日常保育の中での読み聞かせの充実
- 家庭との連携による読み聞かせの推進（保育所）
- 絵本コーナー・貸出図書の充実（保育所）
- 療育の中での読み聞かせの推進
- 子どもプラザにおける子どもの読書活動の推進
- 中央児童会館における子どもの読書活動の推進
- 少年科学文化会館における子どもの読書活動の推進
- 背振少年自然の家における子どもの読書活動の推進
- 海の中道青少年海の家における子どもの読書活動の推進
- その他の施設における子どもの読書活動の推進（美術館、アジア美術館、博物館、市民福祉プラザ、人権のまちづくり館）

#### 2. 学校における読書活動の推進

##### 重要施策

- 学校司書の効果的配置の実施
- 学校図書館のデータベース化による環境整備の充実

##### その他の施策

- 司書教諭の配置の充実
- 図書の整備
- 学校教育における読書活動の推進（小・中学校）
- 学校図書館の活性化と環境の充実（高校）
- 朝の読書活動の推進（高校）
- 特別支援教育における読書環境の充実
- 子どもの読書活動推進に関する調査研究、情報提供
- 学校図書館教育担当者の研修システムの改善

#### 3. 図書館を拠点とした読書活動の推進

##### 重要施策

- 学校図書館への団体貸出〈新規〉
- ヤングアダルトへのサービスの充実〈新規〉
- 障がい児への図書の貸出
- 地域文庫等紹介マップの作成・配布〈新規〉

##### その他の施策

- 児童図書、児童研究資料の収集、提供
- 世界の絵本の収集
- おはなし会の実施
- ブックスタート事業のフォローアップ
- 子ども対象イベントの実施
- 「こどもとしゃかんニュース」の発行
- 地域文庫などへの団体貸出
- 文庫活動ボランティア講座の開催
- 地域文庫交流会の開催
- 優良図書の周知普及
- 視覚障がいのある子どもへの点字図書館の周知

#### 4. 家庭・地域・学校等の連携の推進

##### 重要施策

- 「福岡市子どもと本の日」と「共読」の推進
- 「子ども読書フォーラム」の拡充

##### その他の施策

- 保育所における関係機関・地域ボランティアとの連携の推進
- 障がい児施設における関係機関・地域ボランティアとの連携による取組みの充実
- PTAの取組みへの支援
- 「福岡市子ども読書活動推進会議」の設置



— 福岡市子ども読書活動推進計画（第2次） —

発 行 / 平成23年5月

編集・発行 / 福岡市教育委員会教育支援部生涯学習課

所 在 地 / 〒810-8621 福岡市中央区天神一丁目8番1号

電 話 / 092-711-4653

F A X / 092-733-5538

E - m a i l / shogaigakushu.BES@city.fukuoka.lg.jp

U R L / <http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku/>